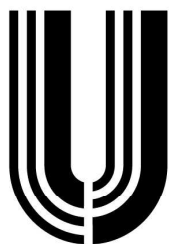


令和7年度 定時社員総会

日時: 令和7年5月31日(土)

会場: 国立京都国際会館 1Fメインホール



公益社団法人

日本超音波医学会

〒101-0063

東京都千代田区神田淡路町2-23-1

お茶の水センタービル6F

U R L: <https://www.jsum.or.jp>

T E L: 03-6380-3711

F A X: 03-5297-3744

E-Mail: office@jsum.or.jp

公益社団法人日本超音波医学会 令和7年度定時社員総会次第

日時：令和7年5月31日(土) 12:00~13:00

会場：国立京都国際会館 1Fメインホール

開会	理事長
理事長挨拶	理事長
議長選出	理事長
議題	
1. 令和6年度事業報告(令和6年度事業報告及び附属明細書)について(承認事項) (資料1)	総務担当理事
2. 令和6年度収支決算報告(令和6年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び附属明細書並びに財産目録)について(承認事項) (資料2)	財務担当理事
3. 令和6年度収支決算監査報告について(承認事項) (資料3)	監 事
4. 令和7年度事業計画書について(報告事項) (資料4)	総務担当理事
5. 令和7年度収支予算書(令和7年度予算)、資金調達及び設備投資の見込を記載した書類について(報告事項) (資料5)	財務担当理事
6. 定款変更について(承認事項) (資料6)	理事長
7. 役員の報酬・退職金について(承認事項) (資料7)	理事長
8. 令和7年度外部理事選任について(承認事項) (資料8)	理事長
9. 会費滞納状況による資格喪失者の状況(報告事項) (資料9)	理事長
10. 名誉・功労会員推薦について(承認事項) (資料10)	理事長
11. その他	理事長
議事録署名人の選出	議 長
閉会	議 長

令和6・7年度公益社団法人日本超音波医学会 役員

(自 令和6年6月1日 至 令和8年度通常社員総会締結時)

理事長(代表理事)	岩永史郎								
副理事長(代表理事)	小川真広	長谷川英之							
理事	赤坂和美	秋山いわき	荒川元孝	石津智子	市塚清健	尾本きよか	北野雅之	黒田英克	
	陣崎雅弘	瀬尾由広	大門雅夫	中田雅彦	西田睦	新田尚隆	畠二郎	濱口浩敏	
	古川まどか	丸山紀史	村田光繁	山口匡	吉田寛	渡邊望			
監事	菊池昭彦	日浅陽一							
幹事	板橋裕史	楠瀬賢也	工藤正俊	椎名毅	松本直樹	吉澤晋			

令和6～9年度公益社団法人日本超音波医学会代議員名簿 —敬称略— (239名)

(自 令和6年4月1日 至 令和10年3月31日)

(医師) 210名

相方浩	會澤信弘	赤坂和美	明石定子	赤松加奈子	朝井章	蘆田玲子	麻生和信
安部晴彦	阿部雅則	池澤賢治	池ノ上 学	石井桂介	石津智子	泉知里	井田良幸
板橋裕史	市塚清健	糸井隆夫	伊藤吾子	伊藤隆英	伊藤高広	糸永昌弘	井上勝次
今城健人	岩瀧麻衣	岩永史郎	岩橋徳明	植田裕介	浮村理	宇宿弘輝	打田佐和子
宇都宮裕人	梅原永能	大枝敏	大川和良	太田智行	大谷朋仁	大西俊成	大野栄三郎
小形幸代	岡庭信司	小川力	小川真広	沖原宏治	奥田真一	奥野敏隆	小倉健
尾本きよか	加地剛	春日義史	金川武司	金子真大	鎌田佳宏	亀井桂太郎	亀田徹
狩山和也	川合宏哉	河岡友和	川崎靖子	川嶋啓揮	川部直人	神崎秀明	菊池昭彦
岸野智則	貴田浩志	北野雅之	清野宗一郎	楠瀬賢也	葛谷貞二	久保田一徳	黒沢幸嗣
黒田英克	黒松亮子	桑田知之	鯉淵晴美	合田亜希子	木暮宏史	小林奈津子	小松篤史
紺野啓	西條良仁	西條芳文	斎藤こずえ	齋藤昌利	齊藤弥穂	佐伯一成	阪上順一
坂田泰史	櫻井健一	笹沼英紀	佐藤秀一	佐藤輝紀	塩見英之	塩見優紀	重田浩一朗
島宏彰	志村浩己	陣崎雅弘	菅原政貴	杉原誉明	杉本勝俊	須田清一郎	諏訪恵信
瀬尾由広	祖父尼淳	大門雅夫	高木慎太郎	高口浩一	高野真澄	鷹野真由実	高橋周
高橋宏和	瀧聞浄宏	瀧田寛子	武井黄太	武井康悦	田尻和人	多田俊史	多田浩
多田藤政	田中新一郎	田中利隆	玉井努	玉井秀幸	田丸俊輔	土谷薫	堤義之
寺井崇二	徳中真由美	土肥薫	豊田秀徳	豊野学朋	内藤岳人	永井知雄	中岡和徳
中川勇人	中河原浩史	長崎澄人	中島祐子	中島淑江	中田雅彦	長沼裕子	中野聖士
永松健	中村進一郎	那須初子	檜原哲史	西川かおり	西村重彦	西村貴士	野々垣浩二
野間栄次郎	伯野大彦	橋本千樹	畑中健	濱口浩敏	林香月	林秀樹	原田侑
日浅陽一	肱岡範	日高央	平岡淳	平田久美子	平野豊	廣岡昌史	廣岡芳樹
蓬原一茂	本郷文弥	政田賢治	松居剛志	松岡隆	松原浩	松本直樹	の野智光
真野敏昭	丸上永晃	丸山紀史	皆川洋至	南康範	宮下進	村田光繁	望月泰秀
本吉康英	森本直樹	守屋昭男	安井豊	矢田豊	山下竜也	山下泰伸	山田晶
山田聡	山田博胤	山野哲弘	山野倫代	山本敏樹	山本祐華	山本亮	湯浅敏典
吉田寛	吉田雄一	米田正人	和久井紀貴	和田誠司	和田靖明	渡辺隆紀	渡邊望
渡邊博之	渡邊幸信						

(理工学関係者) 23名

荒川元孝	池田貞一郎	今村智久	大栗拓真	岡田健吾	尾高北斗	神山直久	小玉哲也
佐々木東	園山輝幸	田中智彦	谷川俊一郎	辻田剛啓	新田尚隆	橋本浩	長谷川英之
平田慎之介	藤井信彦	榎田晃司	山口匡	吉澤晋	吉田憲司	脇康治	

(医師・理工学関係者以外) 6名

小川定信	乙部克彦	佐藤洋	鈴木亮	西田睦	丹羽文彦
------	------	-----	-----	-----	------

令和6・7年度日本超音波医学会 各種委員会等名簿

在り方検討委員会 (17名)

委員長	二 郎 寛	渡 邊 望	小 川 眞 広	工 藤 信 樹	西 條 芳 文	島 田 祐 恵	陣 崎 雅 弘	瀧 間 浄 宏
副委員長	吉 田 山 和	太 井 智 始	古 川 ま ど か	丸 山 紀 史	村 田 光 繁	山 本 祐 華		
委員	秋 山 い わ き							
委員	新 田 尚 隆	山 口 匡	尾 本 き よ か	亀 田 倫 徹	岸 本 理 和	桑 田 知 之	近 藤 隆	内 藤 み わ
委員	石 井 琢 之 介	松 本 直 樹	水 野 隆					

機器及び標準化委員会 (16名)

委員長	秋 山 い わ き	山 口 匡	尾 本 き よ か	亀 田 倫 徹	岸 本 理 和	桑 田 知 之	近 藤 隆	内 藤 み わ
副委員長	新 田 尚 隆	山 口 匡	水 野 隆					
委員	石 井 琢 之 介	松 本 直 樹						
委員	平 田 慎 之 介							

安全委員会 (11名)

委員長	秋 山 い わ き	新 田 尚 隆	菊 池 昭 彦	工 藤 信 樹	坂 田 好 美	笹 沼 英 紀	野 村 英 之
副委員長	市 塚 清 健	村 晋 一					
委員	池 上 ノ 学	梅 村 一 郎					
委員	内 藤 み わ						

編集委員会 (75名)

委員長	丸 瀬 赤 菊	山 尾 坂 田 池 二 紀 由 和 昭 勝 航 史 広 美 基 彦 え 俊 薫 仁 淳 敦	新 石 岡 北 坂 鈴 豊 橋 平 南	田 井 庭 川 田 木 野 口 慎 田 村 泰 眞 学 直 之 康	隆 介 司 亘 史 一 朋 史 介 範	泉 岡 楠 佐 祖 中 長 廣 山	知 龍 賢 太 一 英 昌 津	里 太 也 郎 淳 彰 之 史 子	市 沖 國 笹 高 中 昌 柊 山	塚 原 井 原 田 島 山 野	清 宏 知 一 二 倫	健 治 葉 潤 史 毅 郎 刺 代	位 面 久 佐 竹 中 蜂 福 吉	藤 谷 保 藤 川 島 屋 原 澤	俊 一 和 英 祐 弘 隆	一 透 德 奏 宏 子 之 宏 晋	今 加 黒 塩 田 中 花 藤 吉	城 地 田 見 中 野 岡 井 田	健 英 英 秀 正 為 喜 憲	人 剛 克 之 和 吾 子 充 司	植 龜 後 小 谷 永 濱 古 吉	松 田 藤 路 垣 易 口 川 元	孝 英 伸 洋 浩 ど 和	悦 徹 之 直 治 子 敏 か 彦	大 菅 小 進 寺 成 日 本 渡	野 野 松 藤 田 瀬 高 郷 辺	栄 三 玲 久 星 勝 貴 文 千	郎 敦 奈 和 乃 彦 子 弥 聡
副委員長	赤 菊	山 尾 坂 田 池 二 紀 由 和 昭 勝 航 史 広 美 基 彦 え 俊 薫 仁 淳 敦	新 石 岡 北 坂 鈴 豊 橋 平 南	田 井 庭 川 田 木 野 口 慎 田 村 泰 眞 学 直 之 康	隆 介 司 亘 史 一 朋 史 介 範	泉 岡 楠 佐 祖 中 長 廣 山	知 龍 賢 太 一 英 昌 津	里 太 也 郎 淳 彰 之 史 子	市 沖 國 笹 高 中 昌 柊 山	塚 原 井 原 田 島 山 野	清 宏 知 一 二 倫	健 治 葉 潤 史 毅 郎 刺 代	位 面 久 佐 竹 中 蜂 福 吉	藤 谷 保 藤 川 島 屋 原 澤	俊 一 和 英 祐 弘 隆	一 透 德 奏 宏 子 之 宏 晋	今 加 黒 塩 田 中 花 藤 吉	城 地 田 見 中 野 岡 井 田	健 英 英 秀 正 為 喜 憲	人 剛 克 之 和 吾 子 充 司	植 龜 後 小 谷 永 濱 古 吉	松 田 藤 路 垣 易 口 川 元	孝 英 伸 洋 浩 ど 和	悦 徹 之 直 治 子 敏 か 彦	大 菅 小 進 寺 成 日 本 渡	野 野 松 藤 田 瀬 高 郷 辺	栄 三 玲 久 星 勝 貴 文 千	郎 敦 奈 和 乃 彦 子 弥 聡
委員	丸 瀬 赤 菊	山 尾 坂 田 池 二 紀 由 和 昭 勝 航 史 広 美 基 彦 え 俊 薫 仁 淳 敦	新 石 岡 北 坂 鈴 豊 橋 平 南	田 井 庭 川 田 木 野 口 慎 田 村 泰 眞 学 直 之 康	隆 介 司 亘 史 一 朋 史 介 範	泉 岡 楠 佐 祖 中 長 廣 山	知 龍 賢 太 一 英 昌 津	里 太 也 郎 淳 彰 之 史 子	市 沖 國 笹 高 中 昌 柊 山	塚 原 井 原 田 島 山 野	清 宏 知 一 二 倫	健 治 葉 潤 史 毅 郎 刺 代	位 面 久 佐 竹 中 蜂 福 吉	藤 谷 保 藤 川 島 屋 原 澤	俊 一 和 英 祐 弘 隆	一 透 德 奏 宏 子 之 宏 晋	今 加 黒 塩 田 中 花 藤 吉	城 地 田 見 中 野 岡 井 田	健 英 英 秀 正 為 喜 憲	人 剛 克 之 和 吾 子 充 司	植 龜 後 小 谷 永 濱 古 吉	松 田 藤 路 垣 易 口 川 元	孝 英 伸 洋 浩 ど 和	悦 徹 之 直 治 子 敏 か 彦	大 菅 小 進 寺 成 日 本 渡	野 野 松 藤 田 瀬 高 郷 辺	栄 三 玲 久 星 勝 貴 文 千	郎 敦 奈 和 乃 彦 子 弥 聡
委員	丸 瀬 赤 菊	山 尾 坂 田 池 二 紀 由 和 昭 勝 航 史 広 美 基 彦 え 俊 薫 仁 淳 敦	新 石 岡 北 坂 鈴 豊 橋 平 南	田 井 庭 川 田 木 野 口 慎 田 村 泰 眞 学 直 之 康	隆 介 司 亘 史 一 朋 史 介 範	泉 岡 楠 佐 祖 中 長 廣 山	知 龍 賢 太 一 英 昌 津	里 太 也 郎 淳 彰 之 史 子	市 沖 國 笹 高 中 昌 柊 山	塚 原 井 原 田 島 山 野	清 宏 知 一 二 倫	健 治 葉 潤 史 毅 郎 刺 代	位 面 久 佐 竹 中 蜂 福 吉	藤 谷 保 藤 川 島 屋 原 澤	俊 一 和 英 祐 弘 隆	一 透 德 奏 宏 子 之 宏 晋	今 加 黒 塩 田 中 花 藤 吉	城 地 田 見 中 野 岡 井 田	健 英 英 秀 正 為 喜 憲	人 剛 克 之 和 吾 子 充 司	植 龜 後 小 谷 永 濱 古 吉	松 田 藤 路 垣 易 口 川 元	孝 英 伸 洋 浩 ど 和	悦 徹 之 直 治 子 敏 か 彦	大 菅 小 進 寺 成 日 本 渡	野 野 松 藤 田 瀬 高 郷 辺	栄 三 玲 久 星 勝 貴 文 千	郎 敦 奈 和 乃 彦 子 弥 聡

用語・診断基準委員会 (24名)

委員長	濱 新 市 瀬 宮 平	口 田 橋 尾 越 井 都 始 子	敏 隆 光 広 敬 子	浩 尚 由 敬 子	村 浮 高 森	田 村 倉 田	光 玲 孝	繁 理 奈 子	太 谷 山	田 智 行 郎 子	奥 野 敏 隆 薫 則	尾 本 き よ か 彦	亀 田 憲 太	桑 原 崇 通 汎	鈴木 眞 一 史
副委員長	濱 新 市 瀬 宮 平	口 田 橋 尾 越 井 都 始 子	敏 隆 光 広 敬 子	浩 尚 由 敬 子	村 浮 高 森	田 村 倉 田	光 玲 孝	繁 理 奈 子	太 谷 山	田 智 行 郎 子	奥 野 敏 隆 薫 則	尾 本 き よ か 彦	亀 田 憲 太	桑 原 崇 通 汎	鈴木 眞 一 史
委員	濱 新 市 瀬 宮 平	口 田 橋 尾 越 井 都 始 子	敏 隆 光 広 敬 子	浩 尚 由 敬 子	村 浮 高 森	田 村 倉 田	光 玲 孝	繁 理 奈 子	太 谷 山	田 智 行 郎 子	奥 野 敏 隆 薫 則	尾 本 き よ か 彦	亀 田 憲 太	桑 原 崇 通 汎	鈴木 眞 一 史
委員	濱 新 市 瀬 宮 平	口 田 橋 尾 越 井 都 始 子	敏 隆 光 広 敬 子	浩 尚 由 敬 子	村 浮 高 森	田 村 倉 田	光 玲 孝	繁 理 奈 子	太 谷 山	田 智 行 郎 子	奥 野 敏 隆 薫 則	尾 本 き よ か 彦	亀 田 憲 太	桑 原 崇 通 汎	鈴木 眞 一 史

保険委員会 (17名)

委員長	陣 濱 岩 中 丸	弘 敏 郎 毅 史	浮 村 祐 理 子	春 日 義 史 志	北 野 雅 之 博	久 保 田 一 德 哉	國 分 茂 博 寛	紺 野 啓	斎 藤 こ ず え
副委員長	陣 濱 岩 中 丸	弘 敏 郎 毅 史	浮 村 祐 理 子	春 日 義 史 志	北 野 雅 之 博	久 保 田 一 德 哉	國 分 茂 博 寛	紺 野 啓	斎 藤 こ ず え
委員	陣 濱 岩 中 丸	弘 敏 郎 毅 史	浮 村 祐 理 子	春 日 義 史 志	北 野 雅 之 博	久 保 田 一 德 哉	國 分 茂 博 寛	紺 野 啓	斎 藤 こ ず え
委員	陣 濱 岩 中 丸	弘 敏 郎 毅 史	浮 村 祐 理 子	春 日 義 史 志	北 野 雅 之 博	久 保 田 一 德 哉	國 分 茂 博 寛	紺 野 啓	斎 藤 こ ず え

国際交流委員会 (11名)

委員長	秋 山 い わ き 之 子	長 谷 川 英 彦	黒 田 英 克	椎 名 秀 一 朗	陣 崎 雅 弘	瀬 尾 由 広	南 康 範	山 本 祐 華
副委員長	秋 山 い わ き 之 子	長 谷 川 英 彦	黒 田 英 克	椎 名 秀 一 朗	陣 崎 雅 弘	瀬 尾 由 広	南 康 範	山 本 祐 華
委員	秋 山 い わ き 之 子	長 谷 川 英 彦	黒 田 英 克	椎 名 秀 一 朗	陣 崎 雅 弘	瀬 尾 由 広	南 康 範	山 本 祐 華
委員	秋 山 い わ き 之 子	長 谷 川 英 彦	黒 田 英 克	椎 名 秀 一 朗	陣 崎 雅 弘	瀬 尾 由 広	南 康 範	山 本 祐 華

教育委員会 (29名)

委員長	黒 大 飯 小 多 山 島	克 夫 子 広 史 胤 郎	何 小 中 吉	森 野 島 澤	市 神 長	橋 山 沼 直 裕	光 久 子	市 亀 平	原 田 井 都 始 子	真 徹 子	位 川 古 川	藤 合 宏 一 哉 か	植 黒 松	村 沢 岡	和 幸 平 嗣 隆	宇 齋 皆	宿 藤 川	弘 昌 倫	輝 利 範	岡 瀧 嶺	庭 間 信 喜	司 宏 隆
副委員長	黒 大 飯 小 多 山 島	克 夫 子 広 史 胤 郎	何 小 中 吉	森 野 島 澤	市 神 長	橋 山 沼 直 裕	光 久 子	市 亀 平	原 田 井 都 始 子	真 徹 子	位 川 古 川	藤 合 宏 一 哉 か	植 黒 松	村 沢 岡	和 幸 平 嗣 隆	宇 齋 皆	宿 藤 川	弘 昌 倫	輝 利 範	岡 瀧 嶺	庭 間 信 喜	司 宏 隆
委員	黒 大 飯 小 多 山 島	克 夫 子 広 史 胤 郎	何 小 中 吉	森 野 島 澤	市 神 長	橋 山 沼 直 裕	光 久 子	市 亀 平	原 田 井 都 始 子	真 徹 子	位 川 古 川	藤 合 宏 一 哉 か	植 黒 松	村 沢 岡	和 幸 平 嗣 隆	宇 齋 皆	宿 藤 川	弘 昌 倫	輝 利 範	岡 瀧 嶺	庭 間 信 喜	司 宏 隆
委員	黒 大 飯 小 多 山 島	克 夫 子 広 史 胤 郎	何 小 中 吉	森 野 島 澤	市 神 長	橋 山 沼 直 裕	光 久 子	市 亀 平	原 田 井 都 始 子	真 徹 子	位 川 古 川	藤 合 宏 一 哉 か	植 黒 松	村 沢 岡	和 幸 平 嗣 隆	宇 齋 皆	宿 藤 川	弘 昌 倫	輝 利 範	岡 瀧 嶺	庭 間 信 喜	司 宏 隆

超音波専門医制度委員会 (48名)

委員長	北 石 赤 金 正 日 眞 渡 飯	之 子 美 治 夏 子 明 聡 子	菊 蘆 亀 関 平 皆	池 田 田 谷 野 川	昭 玲 充 倫	彦 子 徹 晃 豊 範	市 久 竹 柊 南	塚 保 田 山 康	清 一 英 康	健 德 宏 剌 範	市 黒 田 藤 宮	橋 田 嶋 原 坂	英 憲 陽	光 克 敦 太 子	植 鯉 多 古 村	村 淵 田 上	和 晴 明 眞	平 美 良 智 司	大 紺 鶴 本 山	西 野 田 郷 川	哲 文 存 啓 之 弘 誠	小 斎 新 樹 吉	野 藤 田 元	友 次 尚 晃 和	輔 隆 司 彦	加 下 檜 松 渡	地 出 垣 本 辺	剛 造 幸 樹 紀
副委員長	北 石 赤 金 正 日 眞 渡 飯	之 子 美 治 夏 子 明 聡 子	菊 蘆 亀 関 平 皆	池 田 田 谷 野 川	昭 玲 充 倫	彦 子 徹 晃 豊 範	市 久 竹 柊 南	塚 保 田 山 康	清 一 英 康	健 德 宏 剌 範	市 黒 田 藤 宮	橋 田 嶋 原 坂	英 憲 陽	光 克 敦 太 子	植 鯉 多 古 村	村 淵 田 上	和 晴 明 眞	平 美 良 智 司	大 紺 鶴 本 山	西 野 田 郷 川	哲 文 存 啓 之 弘 誠	小 斎 新 樹 吉	野 藤 田 元	友 次 尚 晃 和	輔 隆 司 彦	加 下 檜 松 渡	地 出 垣 本 辺	剛 造 幸 樹 紀
委員	北 石 赤 金 正 日 眞 渡 飯	之 子 美 治 夏 子 明 聡 子	菊 蘆 亀 関 平 皆	池 田 田 谷 野 川	昭 玲 充 倫	彦 子 徹 晃 豊 範	市 久 竹 柊 南	塚 保 田 山 康	清 一 英 康	健 德 宏 剌 範	市 黒 田 藤 宮	橋 田 嶋 原 坂	英 憲 陽	光 克 敦 太 子	植 鯉 多 古 村	村 淵 田 上	和 晴 明 眞	平 美 良 智 司	大 紺 鶴 本 山	西 野 田 郷 川	哲 文 存 啓 之 弘 誠	小 斎 新 樹 吉	野 藤 田 元	友 次 尚 晃 和	輔 隆 司 彦	加 下 檜 松 渡	地 出 垣 本 辺	剛 造 幸 樹 紀
委員	北 石 赤 金 正 日 眞 渡 飯	之 子 美 治 夏 子 明 聡 子	菊 蘆 亀 関 平 皆	池 田 田 谷 野 川	昭 玲 充 倫	彦 子 徹 晃 豊 範	市 久 竹 柊 南	塚 保 田 山 康	清 一 英 康	健 德 宏 剌 範	市 黒 田 藤 宮	橋 田 嶋 原 坂	英 憲 陽	光 克 敦 太 子	植 鯉 多 古 村	村 淵 田 上	和 晴 明 眞	平 美 良 智 司	大 紺 鶴 本 山	西 野 田 郷 川	哲 文 存 啓 之 弘 誠	小 斎 新 樹 吉	野 藤 田 元	友 次 尚 晃 和	輔 隆 司 彦	加 下 檜 松 渡	地 出 垣 本 辺	剛 造 幸 樹 紀

顕彰委員会(13名)

委員長
委員
副委員長
委員
副委員

長谷川英之
邊橋浅陽
渡市日秋
山い

川合宏哉
山口匡

菊池昭彦

北野雅之

後藤英之

陣崎雅弘

大門雅夫

濱口浩敏

超音波検査士制度委員会(29名)

委員長
委員
副委員長
委員
副委員

古川まどか
西田隆一
位藤松俊史
小西川かお
森川秀明

濱岡佐和
口庭藤村久
浩裕和重紀
敏貴奏彦貴

小白川典之
小川井都子

小関川眞広
田口久美子

尾関本きよか
松根智紀汎

加武地剛
武井本黄太
松本直樹

河田本中
田中川直倫

夫彦範
敦直倫

小長岡敦
村田光

志亮繁

超音波工学フェロー認定審査委員会(12名)

委員長
委員
副委員長
委員
副委員

荒川元孝
新西條芳
森西翔平

高野真澄
吉田憲司

高橋広樹

武井康悦

谷川俊一郎

長野智章

長沼裕子

嶺喜隆

研究開発促進委員会(14名)

委員長
委員
副委員長
委員
副委員

新市隆健
田塚清孝
荒川元雅彦

位藤俊一
古川まどか

植野映
舩形尚

紺野啓
吉澤晋

杉本勝俊

大門雅夫

高田悦雄

瀧間浄宏

倫理委員会(8名)

委員長
委員
副委員長
委員
副委員

村中光繁
田雅彦
蘆田玲子

山口匡
荒川元孝

岩橋徳明

金井浩

廣岡昌史

学術集会委員会(22名)

委員長
委員
副委員長
委員
副委員

瀬尾由広
中赤坂雅美
西田和史
岩永睦郎

畠山二郎
秋山貴士
西村昭彦

石津智子
長谷川英之
北野雅之

小川眞広
松岡隆
古川まどか

尾本きよか
水上尚子

亀田徹
田光繁

陣崎雅弘
山口匡

中島祐子

地方会委員会(13名)

委員長
委員
副委員長
委員
副委員

尾本きよか
赤坂和子
石津浅陽

岩永史郎
山口匡

北野雅之
渡邊望

黒田英克

瀬尾由広

田邊一明

西田睦

長谷川英之

広報委員会(12名)

委員長
委員
副委員長
委員
副委員

小川眞広
黒田英克
市原真子
飯島尋

黒沢幸嗣
岩永史郎

田中聡司
平井都子

土谷薫

長谷川英之

平田慎之介

山下竜也

利益相反委員会(9名)

委員長
委員
副委員長
委員
副委員

吉田元孝
荒川謙

石本人士

遠藤信行

尾高北斗

神山直久

齊藤弥穂

山下裕一

キャリア支援・ダイバーシティ推進委員会(14名)

委員長
委員
副委員長
委員
副委員

渡邊望美
赤坂和苗
加賀早史
山口史郎

金子真由美
西田睦

貴田浩志
古川まどか

黒沢幸嗣

杉本匡史

高橋宏和

田中聡司

土谷薫

災害対策委員会(13名)

委員長
委員
副委員長
委員
副委員

赤坂和美
尾崎よか
荒井邦明
山田胤

渡邊望
荒川元孝
和川靖明

高野真澄

竹田泰治

多田明良

谷口隼人

中島祐子

堀端洋子

超音波画像のデータベース構築・利活用推進委員会(32名)

委員長
委員
副委員長
委員
副委員

藤正俊毅
工名定子
椎明綱
石山島秀明

飯北豊山
島野田川
尋雅秀

子之徳誠

泉楠西山

知賢生志胤

里也志胤

位竹西渡

藤田泰隆

一治陸紀

岩多日高

超音波画像のデータベース構築・利活用推進委員会(32名)

委員長
委員
副委員長
委員
副委員

永田俊陽

史一淳

郎史一淳

植建平村

松石岡上

悦介淳三

小田中丸

川上秀永

力和晃

小津川真広
浩一誠

総務担当理事(1名)
石 津 智 子

財務担当理事(2名)
山 口 匡 大 門 雅 夫

会員資格担当理事(2名)
西 田 睦 中 田 雅 彦

規約担当理事(2名)
丸 山 紀 史 大 門 雅 夫

日本医学会担当理事(4名)
(評 議 員)岩 永 史 郎
(連 絡 委 員)石 津 智 子
(用 語 委 員)濱 口 浩 敏
(用 語 代 委 員)村 田 光 繁

(資料 1)

公益社団法人日本超音波医学会 令和 6 年度事業報告及び附属明細書
(自 令和 6 年 4 月 1 日 至 令和 7 年 3 月 31 日)

令和 6 年度事業報告は、以下のとおりである。

I 会員の現況

(令和 7 年 3 月 31 日現在)

会員種別	令和 6 年 3 月 31 日 現在 数	令和 7 年 3 月 31 日 現在 数	増 減	備 考
名誉会員	32	36	+ 4	
功労会員	129	132	+ 3	
シニア会員	1, 273	1, 335	+ 62	
正 会 員	6, 107	6, 168	+ 79	
準 会 員	9, 086	9, 496	+ 410	
学生会員	16	12	- 4	
賛助会員	11 (41口)	9 (37口)	- 2 (4口)	
計	16, 654	17, 188	+ 534	

名誉会員(下記69名) (*物故者)
*青柳健次 *加藤金正 *菊池喜充 *田中憲二 *吉田常雄 *吉岡勝哉 *山徳郎 *金子仁郎
*実吉純一 *古賀孝茂 *海老原敏明 *板原克哉 *岡益尚 *奥山太太郎 *安藤弘 *井出正
*奥島基良 *中島孝一 *林周一 *有賀槐三 *John J. Wild *Floyd Dunn *仁村泰治 *尾本良
*伊藤健一 *吉川純一 *岡井 崇 *和賀井敏夫 *福田守道 *田中元直 *竹原靖明 *堤 裕
*北嶋 顕 (33名) 松尾裕英 平田經雄 飯沼一浩 竹内久彌 名取 博 中山 淑
渡邊 紘一 伊東正安 菅原基晃 大槻茂雄 棚橋善克 別府慎太郎 跡見 裕 遠藤信行
伊東 紘一 田中幸正 松崎益徳 千田彰一 Bung Ihn Choi 森安史典 Yi-Hong Chou 竹中 克
八木 晋 Saung-Hyup Kim 工藤正俊 増山 名 Won Jae Lee 谷口信行 森 秀明 Yung-Liang Wan 中谷 敏
飯島 尋子 金井 浩 椎 名 毅 平井都始子 Christoph Dietrich (36名)

[公益目的事業 学会誌等出版事業]

II 学会誌の発行

和文誌「超音波医学」(7冊) : 第51 Supplement号、3～6号、及び第52巻1・2号並びに英文誌「Journal of Medical Ultrasonics」(4冊) : 第51巻2～4号、及び第52巻1号の計11冊を発行した。

巻 号	和 文 誌							英 文 誌				論文数 (計)
	51- Suppl	51- 3	51- 4	51- 5	51- 6	52- 1	52- 2	51- 2	51- 3	51- 4	52- 1	
本文ページ数	763	34	34	32	40	47	40	235	169	137	174	
マニュアル (Manual)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	27 (1)	1
総説 (Review article)	—	23 (3)	14 (1)	18 (1)	22 (2)	14 (1)	33 (3)	8 (1)	10 (1)	13 (1)	28 (2)	16
特集 (Special Feature)	—	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	84 (10)	9 (1)	61 (7)	0 (0)	18
原著 (Original Article)	—	0 (0)	5 (1)	0 (0)	7 (1)	19 (2)	0 (0)	101 (11)	102 (12)	25 (3)	100 (10)	40
症例報告 (Case Report)	—	5 (1)	11 (2)	11 (2)	5 (1)	0 (0)	0 (0)	—	—	—	—	6
技術報告 (Technical note)	—	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	—	—	0
今月の超音波像 (Image)	—	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	8 (4)	12 (5)	17 (7)	6 (3)	21
Letters to the Editor	—	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	6 (4)	0 (0)	3 (2)	0 (0)	7
Editorial	—	1	1	1	1	2	2	2	2	—	3	
編集後記	—	1	1	1	1	1	1	2	2	—	1	

学術集会プログラム	116	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
学術集会抄録	590	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	57	2	2	1	4	9	2	24	31	18	10

()内は掲載論文等の数
和文誌の総説、特集、原著論文中、16論文は翻訳論文である。

〔公益目的事業 学術集会・講習会等事業〕

Ⅲ 学術集会

第97回学術集会(会長 岩永史郎)は、令和6年5月31日から6月2日の3日間、パシフィコ横浜会議センター(神奈川県横浜
市)、及びオンデマンド配信で開催した。参加人数7,444名(現地参加 4,669名、オンデマンド参加 2,775名)。詳細は下記の通
り。

第97回学術集会	
一般演題	奨励賞選考口演会 18題(基礎 5、循環器 3、腹部 5、産婦人科 5) 一般演題 口演 343題(基礎 60、循環器 83、消化器 73、産婦人科 91、腎・泌尿器 6、乳腺 6、小児科 5、甲状腺頭頸部・体表 7、血管 7、教育 5) ホスター 73題(基礎 5、循環器 13、消化器 14、産婦人科 21、乳腺・甲状腺頭頸部・体表 8、運動器 3、血管 5、呼吸器 4) 合 計 434題
会長講演	「臨床医学は症例から始まる」
招待講演	1)「Non-invasive diagnosis of endometriosis」 2)「US criteria for risk of thyroid nodules: TI-RADS and guidelines」 3)「Ultrasound screening in population with fatty liver」
特別プログラム	消化器 1)シンポジウム「消化管の炎症を診る」 2)シンポジウム「消化器領域に対するエラストグラフィの進歩」 3)シンポジウム「胆道感染の超音波検査～救急疾患から重症度判定まで～」 4)パネルディスカッション「超音波検査による胃癌早期診断」 5)パネルディスカッション「脂肪肝の超音波診断の今 ～脂肪肝の超音波診断その評価と臨床的意義～」 6)パネルディスカッション「消化器領域の超音波検査のFusion機能の活用法」 7)パネルディスカッション「造影検査のwash outは何を意味するのか？」 8)パネルディスカッション「消化器癌における薬物療法の超音波検査による治療効果判定」 9)パネルディスカッション「消化器領域における超音波検査のアーチファクト～その対処と活用法を考える～」 10)ワークショップ「消化器領域における最新micro vascular imaging～その手法と意義について～」 11)ワークショップ「超音波診断装置を用いたインターベンションにおける合併症予防とトラブルシューティング」 循環器 1)シンポジウム「連合弁膜症の重症度評価と治療戦略：悩ましい症例にどう取り組むか」 2)シンポジウム「AIと心エコー」 3)シンポジウム「心筋症の治療適応と効果判定」 4)シンポジウム「HF p EFの臨床的多様性に心エコーを活かす」 5)シンポジウム「SHD治療のトラブルを防ぐ」 6)シンポジウム「ACHD心エコーの標準化」 7)シンポジウム「教育：次世代へたくす心エコー」 8)シンポジウム「負荷心エコーの方法論」 9)シンポジウム「心房細動を多面的にとらえる」 腎泌尿器 1)シンポジウム「血尿の診断を極める？血尿診断ガイドラインのアップデートへ対応する？」 2)シンポジウム「泌尿器腫瘍の超音波診断～他の画像技術との対比からその役割を考える～」 3)シンポジウム「排尿機能の超音波診断？今とこれから？」 4)シンポジウム「泌尿器科領域における超音波新技術の活用」 産婦人科 1)シンポジウム「婦人科領域の見えない疾患を描出する私のテクニック」 2)シンポジウム「見えない疾患を診る(胎児編)」 3)シンポジウム「超音波 VS MRI CT」 4)シンポジウム「分娩産褥管理における超音波検査(経会陰、経直腸、経膈)の利用」 5)パネルディスカッション「ここまでわかる妊娠初期超音波」 6)ワークショップ「胎児心不全の定義」について考える Part 2」 乳腺 1)シンポジウム「乳癌組織像推定超音波診断案の現状と試験的VOTING」 2)パネルディスカッション「乳房2nd look USの工夫」 3)パネルディスカッション「BRCA病的バリアント検出乳癌の超音波診断」 4)ワークショップ「ヒヤリ、ハテナ、マサカの乳房超音波症例集」 運動器 1)シンポジウム「多様な職種の融合：持続可能な運動器エコー教育」 2)シンポジウム「激アツ！症例検討会」～それって何科の疾患？～ 3)シンポジウム「内科外来受診ついでに相談をうける〇〇痛～チョイあて運動器エコー～」 4)シンポジウム「非整形外科医と運動器エコーの融合～救急・内科でも治せる運動器疾患～」 5)パネルディスカッション「究極の現場とエコーの融合」 呼吸器 1)シンポジウム「AI時代の肺エコー 画像の最適化とAI参入を考える」

	2) パネルディスカッション「肺エコーを急性期診断・治療に役立てる」 3) ワークショップ「呼吸器超音波～肺がん診断の発展～」 小児科 1) シンポジウム「小児POCUSをいかに小児医療の質向上につなげるか(小児POCUSのQIプロジェクト)」 2) シンポジウム「異なる立場で行う小児心エコーのポイント」 3) ワークショップ「小児超音波で『診断エラーと向き合う』」 甲状腺・頭頸部 1) シンポジウム「ゲノム医療からみた甲状腺超音波診断の役割」 2) パネルディスカッション「手術範囲を決定するための超音波による術前リンパ節マッピング」 3) ワークショップ「遺伝性甲状腺疾患の超音波と臨床像」 4) ワークショップ「唾液腺疾患の超音波診断」 血管 1) シンポジウム「血管エコーの計測を極める」 2) シンポジウム「病態生理から考える血管エコー」 3) シンポジウム「血管治療を学び検査に活かそう」 4) パネルディスカッション「みなさまに問う、標準的評価法の活用方法」 5) ワークショップ「新技術はどこまで活用されているか 血管評価最前線」 脳神経 1) シンポジウム「超音波による頸動脈病変の標準的評価法 追補版」 2) ワークショップ「ブランクだけじゃない！頭頸部エコーでみられる典型画像」 3) ライブデモンストレーション「脳卒中診療における血管エコーの役割」 総合・健診 1) シンポジウム「MVF」が切り開く世界」 2) シンポジウム「この検診の超音波像、どうする」 3) シンポジウム「USを用いたcross-specialtyな診療」 領域横断 1) シンポジウム「超音波内視鏡の世界」 2) シンポジウム「造影超音波の世界」 Point of Care 1) シンポジウム「POCUSの多様性を考える」 2) シンポジウム「Physical examinationの一環としてのPOCUS活用法」 基礎(工学) 1) シンポジウム「診断・治療支援技術開発の変遷と未来への希望」 2) シンポジウム「奨励賞研究の最新動向」 3) シンポジウム「ファントム開発と応用の最新動向」 検査士 1) シンポジウム「AIの超音波検査への応用」 2) ワークショップ「多様化する超音波診断技術」
その他	委員会企画 1) 安全委員会企画「安全委員会主催：臨床医向け安全性に関するステートメントについて」 2) キャリア支援・ダイバーシティー推進委員会企画「Early Career企画 第1回領域横断エコリンピック2024」 市民公開講座「超音波を活用する仕事を知ろう」 ハンズオンセミナー「血管エコーハンズオン」 必修講習会 第23回教育セッション ランチョンセミナー ファイヤーサイドトーク
機器展示	30社

IV 地方会学術集会

下記の地方会学術集会を開催した。

- a. 北海道地方会学術集会
 - 第54回 会長 古橋真人
 - 令和6年9月14日(土) 於：北海道大学学術交流会館(北海道札幌市)
 - 参加者：310名 演題数：35題
- b. 東北地方会学術集会
 - 第68回 会長 堤 誠司
 - 令和6年9月15日(日) 於：山形テルサ(山形県山形市)
 - 参加者：188名 演題数：24題
 - 第69回 会長 齋藤昌利
 - 令和7年3月2日(日) 於：仙台市中小企業活性化センター(宮城県仙台市)
 - 参加者：312名 演題数：28題
- c. 関東甲信越地方会学術集会
 - 第36回 会長 沼田和司
 - 令和6年10月5日(土)～6日(日) 於：有明セントラルタワー ホール&カンファレンス(東京都江東区)
 - 参加者：1,534名 演題数：161題
- d. 中部地方会学術集会
 - 第45回 会長 服部昌志
 - 令和6年9月1日(日) 於：ウインクあいち(愛知県名古屋市中区)
 - 参加者：495名 演題数：44題
- e. 関西地方会学術集会
 - 第51回 会長 大川和良
 - 令和6年9月21日(土) 於：大阪国際会議場(大阪府大阪市)
 - 参加者：1,428名 演題数：125題
- f. 中国地方会学術集会
 - 第60回 会長 眞部紀明
 - 令和6年9月7日(土) 於：岡山国際交流センター(岡山県岡山市)
 - 参加者：343名 演題数：50題
- g. 四国地方会学術集会

- 第34回 会長 平岡 淳
令和6年10月19日(土) 於：愛媛大学医学部臨床講義棟(愛媛県東温市)
参加者：536名 演題数：47題
- h. 九州地方会学術集会
第34回 会長 大堂雅晴
令和6年9月16日(月・祝) 於：福岡国際会議場(福岡県福岡市)
参加者：833名 演題数：77題

[公益目的事業 学術集会・講習会等事業]

V 教育セッション・超音波診断講習会・小規模講習会(腹部ハンズオンセミナー)・必修講習会

- a. 教育セッション
第23回教育セッション
令和6年5月31日～6月1日、及び令和6年6月21日から7月31日オンデマンド配信 於：パシフィコ横浜(神奈川県横浜市) 参加者：1,603名
- b. 超音波診断講習会
超音波診断講習会(領域横断)
令和6年8月24日(土) 於：広島県医師会館(広島県広島市)、及び令和6年9月3日～10月3日オンデマンド配信 参加者：236名(延べ人数)
超音波診断講習会(循環器)
令和6年11月2日(土) 於：大阪国際会議場(大阪府大阪市)、及び令和6年11月12日～12月12日オンデマンド配信 参加者：172名(延べ人数)
超音波診断講習会(血管)
令和7年1月18日(土) 於：大手町ブレイスカンファレンスセンター、及び令和7年1月28日～2月28日オンデマンド配信 参加者：223名(延べ人数)
超音波診断講習会(消化器)
令和7年2月22日(土) 於：TKPガーデンシティPREMIUM仙台西口(宮城県仙台市)、及び令和7年3月4日～4月4日オンデマンド配信 参加者：248名(延べ人数)
- c. 小規模講習会(腹部ハンズオンセミナー)
コロナウィルス感染状況を考え中止
- d. 必修講習会
第97回学術集会 令和6年6月1日(土) 於：パシフィコ横浜(神奈川県横浜市) 受講者：998名

VI 各種委員会等

[会員相互補助事業]

- 1 在り方検討委員会
本年度については新たな活動は行わなかった。

[公益目的事業 調査研究事業]

- 2 機器及び標準化に関する委員会
a. 「経腔探触子の消毒法に関する小委員会」において、経腔探触子の消毒法に関する検討を行った。
b. 「SWE(shear wave elastography)の標準化小委員会」において、SWEの標準化に関する検討を行った。
c. 超音波診断機器の規格に関する最新動向を把握するため、国際電気標準会議(IEC)に委員1名の派遣を行った。
d. 安全委員会及び教育委員会と共同でワーキンググループにて、超音波医学に関する医学部教育用及び一般市民向けのコンテンツの策定を行った。
e. 穿刺時の超音波プローブの消毒について「体表・消化器・泌尿器・産婦人科」の4領域について検討を行った。
f. 新しい機器に関する啓発活動を行った。
g. 会員からの機器に関する問い合わせに対応を行った。

[公益目的事業 調査研究事業]

- 3 安全委員会
a. 「超音波の安全性」についての調査、啓発活動を行った。
b. 「音響放射力の生体への影響検討小委員会」において、音響放射カインパルスの生体への影響について検討を行った。
c. 機器及び標準化に関する委員会及び教育委員会と共同でワーキンググループにて、超音波医学に関する医学部教育用及び一般市民向けのコンテンツの策定を行った。

[公益目的事業 学会誌等出版事業]

- 4 編集委員会
a. 和文誌「超音波医学」(7冊)：第51巻Supplement号、3～6号、及び第52巻1・2号並びに英文誌「Journal of Medical Ultrasonics」(4冊)：第51巻2～4号、及び第52巻1号の計11冊を発行した。(Supplement号については電子版のみ発行した。)(Ⅱ項参照)
b. 総説、及び特集などの執筆を依頼し、総説13編、特集14編を掲載した。
c. Impact Factor値の上昇の方策について検討を行った。
d. メールマガジンとして会告号、機関誌号、イベント号の配信を行った。
e. 論文賞候補として、菊池賞2編、及び伊東賞2編を選考し決定した。

[公益目的事業 調査研究事業]

- 5 用語・診断基準委員会
a. 医用超音波用語関係
1) 医用超音波用語集改訂を随時行い、ウェブサイトに反映した。
2) 他学会との交流、及び連携を図り、用語の整合性について検討を行った。
b. 診断基準関係
1) 「結節甲状腺腫診断基準」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。
2) 「消化管診断基準」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。
3) 「胆嚢癌超音波診断基準」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。
4) 「乳房造影超音波診断基準」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。
5) 「超音波による四肢動脈病変の標準的評価法」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。
6) 「超音波による頸動脈の標準的評価法(追補版)」の公示を予定している。
7) 「超音波によるバスキュラーアクセスの標準的評価法」(案)公示にむけて検討を行った。
8) 「胎児発育不全の診断ガイドライン」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。
9) 「血管超音波の標準的検査法：総論」の公示を予定している。
10) 「肝腫瘍の超音波診断基準」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。
11) 「超音波による腎血管病変の標準的評価法」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。
12) 「成人心臓弁膜症の心エコー図診断」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。
13) 「新生児・乳児の股関節脱臼診断基準」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。

- 14)「エラストグラフィ(肝臓)ガイドライン」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。
- 15)「脂肪肝(超音波減衰法)ガイドライン」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。
- 16)「胎児心不全の定義」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。

[法人事業/法人管理関係]

6 保険委員会

- a. 次回療養報酬改定に向け要望項目について、会員にアンケート調査を行い、次回診療報酬改定に向けての準備を行った。
- b. 引き続き、内保連・外保連に委員を派遣し、関連他学会との情報交換を行った。
- c. 例年のように超音波専門医研修施設宛に各種超音波検査の年間検査件数、及び検査に携わる医師や技師の実態把握のためのアンケート調査を行った。

[公益目的事業 国際交流事業]

7 国際交流委員会

- a. 公益社団法人日本超音波医学会奨学制度(JSUM Fellowship)関係
「公益社団法人日本超音波医学会奨学制度実施要領」に準拠して、次の活動を行った。
1) JSUM Fellowship2024の研修の実施した。
2) 2025年度JSUM Fellowship研修生を公募し、1名を選考した結果、1名を採択した。
3) 今後の国際貢献の在り方について検討した。
- b. アジア超音波医学学会連合(AFSUMB)・世界超音波医学学会連合大会(WFUMB)関係
1) 令和6年5月9日～11日に韓国・ソウルで開催される第16回AFSUMB大会に学術、広報などの面で協力した。
2) 令和7年5月29日～6月1日に日本・京都市において北野雅之大会長とともに開催される第20回WFUMB大会の準備に学術、広報などの面で協力した。
3) 英文誌(Journal of Medical Ultrasonics)並びにAFSUMB、及び本会のウェブサイトにおいてJSUM Fellowshipの募集広告を行った。
4) AFSUMB、及びWFUMBのEducation Programに協力した。
5) 本会の国際化を一層推進するため、新たな交流事業について検討した。
- c. 超音波医学に関して国際的に活躍されている方で本会名誉会員にふさわしい方を検討し、ブラジル連邦共和国のProf. M. Cristina Chammasとルーマニア共和国のProf. Ioan Sporeaを理事会に推薦した。

[公益事業 学術集会・講習会等事業]

8 教育委員会

- a. 第97回学術集會会期中にパシフィコ横浜を会場として、第23回教育セッションを開催した。開催終了後にオンデマンド配信も行った。(IV項参照)
- b. 第98回学術集會会期中に開催予定の「第24回教育セッション」を企画し、開催に向けての準備を行った。
- c. 2024年度に超音波診断講習会(循環器・消化器・血管・領域横断)4領域の開催を行った。(IV項参照)
- d. 2025年度に開催する超音波診断講習会を企画し、開催に向けての準備を行った。
- e. 2024年度中に小規模講習会(腹部ハンズオンセミナー)は、新型コロナウイルス感染状況を見極めて計画を立てる検討を行った。
- f. 第97回学術集會会期中にパシフィコ横浜を会場として、「必修講習会」の開催を行った。
- g. 機器及び標準化に関する委員会、及び教育委員会と共同でワーキンググループにて、超音波医学に関する医学部教育用及び一般市民向けのコンテンツの策定準備を行った。

[収益事業 資格認定事業]

9 超音波専門医制度委員会

- a. 令和6年度に指定した新規18施設(研修施設12施設、基幹施設2施設、連携施設4施設)、更新55施設(研修施設37施設、基幹施設18施設)、指定変更2施設(研修施設1施設、基幹施設1施設)に、令和6年4月1日付で指定証を交付した。
- b. 令和7年度研修施設及び研修施設群の指定に向けて審査を実施し、新規22施設(研修施設20施設、基幹施設1施設、連携施設1施設)、更新73施設(研修施設54施設、基幹施設17施設、連携施設2施設)、指定変更3施設(研修施設2施設、連携施設1施設)を指定した。
- c. 第34回超音波専門医認定試験を実施し、合格者97名の認定・登録を行った。
- d. 第35回超音波専門医認定試験のための試験委員会を組織し、同認定試験実施に関する会告を公示した。
- e. 第30回超音波専門医資格更新審査を実施し、更新者531名、猶予者5名の認定・登録を行った。
- f. 令和6年度超音波指導医認定審査を実施し、再認定343名、新規75名の認定・登録を行った。
- g. 超音波専門医制度に関わるウェブサイトページの充実化を図った。
- h. 超音波専門医制度に関する会員への啓発を積極的に行った。

[公益目的事業 表彰事業]

10 顕彰委員会

- a. 第26回特別学会賞の選考を行い、以下の2名に授与した。
谷口 信行 (済生会宇都宮病院超音波センター)
中谷 敏 (大阪府済生会千里病院)
- b. 第3回工藤賞の選考を行い、以下の1名に授与した。
廣岡 昌史 (愛媛大学消化器・内分泌・代謝内科学)
- c. 第24回技術賞の選考を行い、以下2グループ2名に授与した。
「Micro B-Flow(マイクロ ビーフロー)の開発」
(グループ代表者: 谷川 俊一郎氏(GEヘルスケア・ジャパン株式会社 超音波製品開発部))
「SMI Generation 4 (SMI Gen4)」
(グループ代表者: 郷田 晃央(キヤノンメディカルシステムズ株式会社))
- d. 第38回菊池賞(論文賞)の選考を行い、以下の2編に授与した。
「Contrast analysis in ultrafast ultrasound blood flow imaging of jugular vein」
(J Med Ultrasonics Vol.50, No.2)
Masaaki Omura¹・Kunimasa Yagi²・Ryo Nagaoka¹・Hideyuki Hasegawa¹(¹Faculty of Engineering, University of Toyama, ²School of Medicine, Kanazawa Medical University)
「Acoustic radiation force impulse-induced lung hemorrhage: investigating the relationship with peak rarefactional pressure amplitude and mechanical index in rabbits」
(J Med Ultrasonics Vol.50, No.2)
Noriya Takayama¹・Hideki Sasanuma²・Kazuma Rifu²・Naotaka Nitta³・Iwaki Akiyama⁴・Nobuyuki Taniguchi¹
(¹Department of Clinical Laboratory Medicine, Jichi Medical University, ²Division of Gastroenterological, General and Transplant Surgery, Department of Surgery, Jichi Medical University, ³Health and Medical Research Institute, National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST), ⁴Medical Ultrasound Research Center, Doshisha University)
- e. 第19回伊東賞(論文賞)の選考を行い、以下の2編に授与した。

- 「Right ventricular free wall longitudinal strain assessment using offline speckle tracking in COVID-19 patients requiring intensive medical care」(J Med Ultrasonics Vol.50, No.3)
Tomoo Nagai¹・Hitomi Horinouchi¹・Koichiro Yoshioka¹・Yuji Ikari¹ (Division of Cardiology, Department of Internal Medicine, Tokai University School of Medicine)
- 「The diagnostic accuracy of endoscopic ultrasound-shear wave elastography in multiple pancreatic regions for chronic pancreatitis based on the Rosemont criteria」(J Med Ultrasonics Vol.50, No.4))
Shuhei Shintani¹・Osamu Inatomi¹・Kosuke Hiroe¹・Yuki Tomozawa³・Akitoshi Inoue³・Hidenori Kimura²・Atsushi Nishida¹・Yoshihisa Tsuji⁴・Yoshiyuki Watanabe³・Akira Andoh¹ (Department of Medicine, Shiga University of Medical Science, Department of Endoscopy, Shiga University of Medical Science, Department of Radiology, Shiga University of Medical Science, Department of General Medicine, Shiga University of Medical Science)
- f. 第25回奨励賞の選考を行い、以下の6名に授与した。
【基礎】「マイクロバブルと集束超音波を用いた脳腫瘍へのmRNA搭載脂質ナノ粒子の送達」
小俣大樹 (帝京大学薬学部)
【循環器】「ATTR心アミロイドーシスにおける僧帽弁の形態変化：三次元経胸壁心エコーを用いた検討」
品田慶太郎 (慶應義塾大学医学部循環器内科)
【循環器】「心機能障害に基づいた心房性機能性僧帽弁逆流の病期分類：REVEAL-AFMRのサブ解析」
岡田大司 (神戸市立医療センター中央市民病院循環器内科)
【消化器】「超音波による頸部胸管の拡張能評価法の開発と慢性肝疾患における臨床的意義の検討」
矢野 怜 (愛媛大学消化器・内分泌・代謝内科学)
【産婦人科】「3D経陰超音波を用いた子宮形態診断による弓状子宮と妊娠合併症の関連についての検討」
吉原達哉 (山梨大学産婦人科)
【産婦人科】「胎児心機能評価の新たなパラダイム：妊娠週数から推定体重へ」
田野 翔 (トヨタ記念病院 周産期母子医療センター産科、名古屋大学医学部附属病院産婦人科)
- g. 第13回新人賞(地方会)の選考を行い、以下の8名に授与した。
【北海道地方会】
【循環器】「急性期診断に心エコー図検査が有用であった急性右室心筋梗塞の1例」
森下皓旭 (手稲区仁会病院循環器内科)
【東北地方会】
【基礎】「Dual-PRF + Dual-angle ドブラによる2次元血流ベクトルの頑健な計測」
岡田悠希 (東北大学大学院医工学研究科)
【関東甲信越地方会】
【消化器】「腹部超音波検査が診断の一助となった神経内分泌腫瘍の1例」
得平雅英 (杏林大学病院消化器内科)
【中部地方会】
【消化器】「EUS-FNAでのリンパ節生検における病理診断能と有害事象軽減を考慮した穿刺針選択」
村山由季 (岐阜市民病院消化器内科)
【関西地方会】
【循環器】「左室壁運動が経時的に変化した非細菌性血栓性心内膜炎による多発塞栓症の一例」
松浦智弘 (北播磨総合医療センター循環器内科)
【中国地方会】
【循環器】「血管内超音波検査(IVUS)により大動脈解離に合併した急性広範前壁心筋梗塞と診断に至り救命し得た一例」
吉田直人 (鳥取大学医学部附属病院循環器・内分泌代謝内科学)
【四国地方会】
【消化器】「Micro B-flowにてThreads and streaks signを観察しえた肝細胞癌の一例」
和泉翔太 (愛媛大学大学院消化器・内分泌・代謝内科学)
【九州地方会】
【循環器】「肺炎契機にdevelopmental complexと診断し得た1例」
菅 優 (別府医療センター循環器内科)

[収益事業 資格認定事業]

11 超音波検査士制度委員会

- 第39回超音波検査士認定試験を実施し、合格者1,205名の認定・登録を行った。
- 第34回超音波検査士資格更新を実施し、更新者11名、猶予22名の認定・登録、及び第35回超音波検査士資格更新を実施し、更新者2,929名、猶予112名の認定・登録を行った。
- 第12回超音波指導検査士(腹部領域及び血管領域及び体表臓器領域)認定試験を実施し、合格者8名の認定・登録を行った。
- 第8回超音波指導検査士(腹部領域)資格更新を実施し、更新者5名の認定・登録を行った。
- 超音波検査士の育成を図った。
- 「超音波指導検査士(腹部領域及び血管領域及び体表臓器領域)認定試験のための講習会」をオンライン配信にて行った。

[収益事業 資格認定事業]

12 超音波工学フェロー認定審査委員会

- 第26回超音波工学フェローの公募を実施し、申請者6名に対して認定審査を行い、適格と判定した6名を、令和6年10月1日付で認定・登録を行い、本会ウェブサイト公示した。
- 第21回超音波工学フェロー資格更新を実施し、認定審査を行い、適格と判定した更新者13名の認定・登録を行い、本会ウェブサイト公示した。
- 超音波工学フェロー制度の活性化の議論を行うとともに、対象者となる可能性のある会員への周知を行った。
- 超音波工学フェロー有資格者の認知度向上を目指し構築した「工学フェロー検索システム」の広報を行い、浸透を図った。有資格者116名中、本システムへの登録者数は92名となった(2025年3月末時点)。

[公益目的事業 研究開発促進事業]

13 研究開発促進委員会

- 令和6年度研究会設置申請3件の審査を行い、以下の3件(新規1件・継続2件)の研究会の設置を認可した。
 - 基礎技術研究会(新規)
 - 超音波分子診断治療研究会(継続)
 - 頸部リンパ節超音波研究会(継続)
- 令和7年度研究会設置申請に関する会告を公示し、応募書類を審査した。(本会ウェブサイト 令和6年9月)

[法人事業／法人管理関係]

14 倫理委員会

- a. 倫理に関する事項について検討を行った。

〔公益目的事業 学術集会・講習会等事業〕

15 学術集会委員会

- a. 学術集会の在り方を考えて、その運営が円滑に行われるように助言を行った。

〔公益目的事業 学会誌等出版事業〕

16 広報委員会

- a. 本会の学会情報を学会誌、及びインターネット等により広報を行った。
- b. 本会ウェブサイト全般についての管理を行い、利便性の向上を図った。
- c. 本会ウェブサイトリニューアルを行うために広報ワーキンググループを立ち上げ検討を行った。
- d. 本会の活動内容や入会促進を目的として、広報用パンフレットを作成を行った。

〔公益目的事業 学術集会・講習会等事業〕

17 地方会委員会

- a. 地方会に関する事業の発展・充実及び円滑な運営の促進
 - 1) 各地方会の事業が円滑に運営されるよう指導及び助言を行った。
 - 2) 地方会交付金の算定を行い、交付した。
 - 3) 地方会学術集会に関して助言を行った。
 - 4) 地方会講習会に関して助言を行った。
 - 5) 学術集会委員会と共同して正会員増加に関する検討を行った。
- b. 地方会委員会会議及び地方会運営委員長会議を開催し、各地方会相互の連絡を緊密に行った。
- c. 地方会を通じて正会員数の増加を推進した。
- d. 各地方会学術集会演題受付ウェブシステムを利用し、抄録のウェブ掲載を行った。

〔法人事業／法人管理関係〕

18 利益相反委員会

- a. 学会員の利益相反に関するマネージメントを行った。

〔会員相互補助事業〕

19 災害対策委員会

- a. 令和6年1月1日に発生した能登半島地震医療支援活動として、昨年度に引き続き穴水総合病院、及び金沢大学附属病院からの要請に基づき、GEヘルスケア・ジャパン株式会社、富士フイルムヘルスケア株式会社、キヤノンメディカルシステムズ株式会社のご協力の元、携帯型超音波診断装置を貸与し医療支援活動に活用いただいた。

〔会員相互補助事業〕

20 キャリア支援・ダイバーシティー推進委員会

- a. 委員会内に「Early Career部会」を立ち上げ、産婦人科領域の追加を行った。
- b. Early Career部会による第97回学術集會会期中のキャリア支援・ダイバーシティーのシンポジウムを企画し開催を行った。
- c. 年次学術集會及び各地方会での座長候補として適切と思われる若手会員（男女問わず卒後15年未満 or 40歳未満）及び年齢問わず女性会員を増加させる活動を行った。

〔公益目的事業 調査研究事業〕

21 超音波画像のデータベース構築・利活用推進委員会

- a. データベースの構築に関して
 - 1) 臨床研究等のICT基盤構築に関する調査研究事業として、次世代に向けた超音波画像データを収集し、データベースの構築を行った。
 - 2) 各施設に展開した超音波画像データ収集基盤に関して、施設サーバの老朽化に伴いセキュリティの脆弱化が問題となる施設に関して、サーバの入れ替え、更新を行った。
 - 3) 各施設に展開した超音波画像データ収集基盤に関して、保守と管理を行い、また保守期間延長等の対策を講じた。
- b. AIの開発に関して
 - 1) データベースを学習用データ、テスト用データとして用い、超音波診断を支援する人工知能の開発研究に取り組んだ。
 - 2) 開発したAIの検証的臨床試験（性能評価試験）実施のため、外部コホートのテスト用データの収集を行い、テスト用データベースの構築を進めた。

〔法人事業／法人管理関係〕

22 会員資格審査関係

- a. 会員の取扱規則に従い、会員資格に関する下記の認定の審査を行った。
 - 1) 入会希望者及び退会希望者の審査
 - 2) 会員資格喪失該当者の審査
 - 3) 会員種別変更希望者の審査
 - 4) 休会希望者の審査
 - 5) 災害被害者の会費免除希望者の審査
 - 6) 会員数の動向調査
 - 7) 入会条件の検討
 - 8) 新人賞受賞者の入会時期の検討

〔法人事業／法人管理関係〕

23 規約関係

理事長の諮問を受けて、学会運営に関する諸規約の改正、及び廃止について逐次審議し、作案した。

a. 改正

- 1) 公益社団法人日本超音波医学会 会員の種別、入退会、会費等の取扱い規則（令和6年6月1日改正）
- 2) 公益社団法人日本超音波医学会 旅費支給規則（令和6年4月26日改正）
- 3) 公益社団法人日本超音波医学会認定 超音波専門医制度規則（令和6年8月23日改正）
- 4) 公益社団法人日本超音波医学会認定 超音波指導医の推薦・委嘱に関する内規（令和7年1月24日改正）
- 5) 公益社団法人日本超音波医学会 超音波検査士制度委員会規程（令和6年3月15日改正）
- 6) 公益社団法人日本超音波医学会認定 超音波工学フェロー制度規則（令和6年11月8日改正）
- 7) 公益社団法人日本超音波医学会 学術集會会長選考内規（令和6年11月8日改正）
- 8) 公益社団法人日本超音波医学会 研究開発促進委員会規程（令和7年3月14日改正）
- 9) 公益社団法人日本超音波医学会 認定超音波指導検査士規則（令和6年3月15日改正）

b. 廃止

- 1) 公益社団法人日本超音波医学会 研究開発班設置要領（令和7年3月14日廃止）

[法人事業／法人管理関係]

24 個人情報保護関係

本会が保有する個人情報提を適切に管理した。

[会員相互補助事業]

VII 日本医学会関係

- 1 日本医学会連合次期役員候補者を推薦した。
- 2 日本医学会定時総会、及び臨時総会に出席した。
- 3 日本医学会定例評議員会に出席した。
- 4 日本医学会臨床内科部会に出席した。

[事業報告の附属明細書]

記載すべき事項はない。

(資料 2)

令和6年度決算報告書

1. 財務諸表・附属明細書・財産目録
 1. 1 貸借対照表
付. 貸借対照表 内訳表
 1. 2 正味財産増減計算書
付. 正味財産増減計算書 内訳表
 1. 3 財務諸表に対する注記
 1. 4 附属明細書
 1. 5 財産目録
2. 収支計算書(資金収支計算ベース)
 2. 1 収支計算書(資金収支計算ベース)
 2. 2 収支計算書(資金収支計算ベース)に対する注記

1. 1

貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	187,387,140	172,050,988	15,336,152
前払金	45,029,610	5,722,642	39,306,968
仮払金	5,000,000	21,150,563	△ 16,150,563
未収入金	1,779,708	2,174,437	△ 394,729
流動資産 合計	239,196,458	201,098,630	38,097,828
2.固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	36,000,000	36,000,000	0
基本財産 合計	36,000,000	36,000,000	0
(2)特定資産			
退職給付引当預金	89,086,010	85,586,010	3,500,000
減価償却引当預金	2,500,000	2,500,000	0
国際交流基金	4,500,000	4,500,000	0
システム開発基金	13,000,000	13,000,000	0
事務所整備基金	30,000,000	30,000,000	0
学術奨励基金	88,100,000	88,100,000	0
伊東賞基金	13,536,631	14,136,631	△ 600,000
工藤賞基金	5,100,000	5,400,000	△ 300,000
啓発準備資金	16,132,254	15,300,000	832,254
教育関連準備資金	6,549,456	8,637,226	△ 2,087,770
データベース整備資金	13,839,096	26,685,096	△ 12,846,000
学術集会準備資金	44,500,000	36,000,000	8,500,000
特定資産 合計	326,843,447	329,844,963	△ 3,001,516
(3)その他固定資産			
建物付属設備	2	2	0
什器備品	487,880	201,960	285,920
ソフトウェア	2,704,535	4,253,335	△ 1,548,800
敷金	15,176,700	15,176,700	0
その他固定資産 合計	18,369,117	19,631,997	△ 1,262,880
固定資産合計	381,212,564	385,476,960	△ 4,264,396
資産合計	620,409,022	586,575,590	33,833,432
II 負債の部			
1.流動負債			
未払金	16,967,977	19,409,922	△ 2,441,945
前受会費	2,147,969	1,298,909	849,060
前受金	2,625,000	2,931,000	△ 306,000
預り金	344,699	348,974	△ 4,275
会費仮受金	2,211,000	3,210,000	△ 999,000
仮受金	532,679	409,921	122,758
賞与引当金	4,656,809	4,443,033	213,776
流動負債合計	29,486,133	32,051,759	△ 2,565,626
2.固定負債			
退職給付引当金	97,140,732	92,032,410	5,108,322
固定負債合計	97,140,732	92,032,410	5,108,322
負債合計	126,626,865	124,084,169	2,542,696
III 正味財産の部			
1.指定正味財産			
寄付金	5,100,000	5,400,000	△ 300,000
指定正味財産合計	5,100,000	5,400,000	△ 300,000
(うち特定資産への充当額)	(5,100,000)	(5,400,000)	(△ 300,000)
2.一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(36,000,000)	(36,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(232,657,437)	(238,858,953)	(△ 6,201,516)
正味財産合計	493,782,157	462,491,421	31,290,736
負債及び正味財産合計	620,409,022	586,575,590	33,833,432

1. 1-付

貸借対照表 内訳表

令和7年3月31日現在

(単位:円)

科目	公益目的事業	収益事業等	法人会計	内部取引消去	合計
I 資産の部					
1.流動資産					
現金預金	0	47,275,513	140,111,627		187,387,140
前払金	43,490,000	1,235,520	304,090		45,029,610
仮払金	5,000,000	0	0		5,000,000
未収入金	1,569,332	0	210,376		1,779,708
流動資産 合計	50,059,332	48,511,033	140,626,093	0	239,196,458
2.固定資産					
(1)基本財産					
定期預金	0	0	36,000,000	0	36,000,000
基本財産 合計	0	0	36,000,000	0	36,000,000
(2)特定資産					
退職給付引当預金			89,086,010	0	89,086,010
減価償却引当預金			2,500,000	0	2,500,000
国際交流基金	4,500,000			0	4,500,000
システム開発基金	13,000,000			0	13,000,000
事務所整備基金			30,000,000	0	30,000,000
学術奨励基金	88,100,000			0	88,100,000
伊東賞基金	13,536,631			0	13,536,631
工藤賞基金	5,100,000			0	5,100,000
啓発準備資金	16,132,254			0	16,132,254
教育関連準備資金	6,549,456			0	6,549,456
データベース整備資金	13,839,096			0	13,839,096
学術集会準備資金	44,500,000			0	44,500,000
特定資産 合計	205,257,437	0	121,586,010	0	326,843,447
(3)その他固定資産					
建物付属設備	0	0	2	0	2
什器備品	485,495	1,621	764	0	487,880
ソフトウェア	375,284	2,329,251	0	0	2,704,535
敷金	7,133,049	3,111,224	4,932,427	0	15,176,700
その他固定資産 合計	7,993,828	5,442,096	4,933,193	0	18,369,117
固定資産合計	213,251,265	5,442,096	162,519,203	0	381,212,564
資産合計	263,310,597	53,953,129	303,145,296	0	620,409,022
II 負債の部					
1.流動負債					
未払金	13,914,477	0	3,053,500	0	16,967,977
前受会費	0	0	2,147,969	0	2,147,969
前受金	0	2,625,000	0	0	2,625,000
預り金	0	0	344,699	0	344,699
会費仮受金	0	0	2,211,000	0	2,211,000
仮受金	0	0	532,679	0	532,679
賞与引当金	0	0	4,656,809	0	4,656,809
流動負債合計	13,914,477	2,625,000	12,946,656	0	29,486,133
2.固定負債					
退職給付引当金	0	0	97,140,732	0	97,140,732
固定負債合計	0	0	97,140,732	0	97,140,732
負債合計	13,914,477	2,625,000	110,087,388	0	126,626,865
III 正味財産の部					
1.指定正味財産					
寄付金	5,100,000	0	0	0	5,100,000
指定正味財産合計	5,100,000	0	0	0	5,100,000
(うち特定資産への充当額)	(5,100,000)	(0)	(0)	0	(5,100,000)
2.一般正味財産	244,296,120	51,328,129	193,057,908	0	488,682,157
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(36,000,000)	(0)	(36,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(200,157,437)	(0)	(32,500,000)	(0)	(232,657,437)
正味財産合計	249,396,120	51,328,129	193,057,908	0	493,782,157
負債及び正味財産合計	263,310,597	53,953,129	303,145,296	0	620,409,022

1. 2

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1.経常増減の部				
(1)経常収益				
基本財産運用収入	721	720	1	
特定資産運用収入	4,389	4,223	166	
入会金収入	1,615,500	1,656,500	△ 41,000	
会費収入	162,801,500	161,639,000	1,162,500	
事業収入	344,866,573	298,263,738	46,602,835	
参加費収入	(173,127,350)	(132,280,900)	(40,846,450)	
共催セミナー収入ほか	(75,516,143)	(75,013,887)	(502,256)	
広告収入	(7,218,800)	(7,772,200)	(△ 553,400)	
試験・新規認定収入	(46,960,500)	(47,926,000)	(△ 965,500)	
更新認定収入	(26,097,892)	(23,468,500)	(2,629,392)	
学会誌別刷収入	(14,000)	(7,500)	(6,500)	
資料頒布収入	(13,317,780)	(9,374,585)	(3,943,195)	
著作権・印税収入	(2,614,108)	(2,420,166)	(193,942)	
寄付金収入	2,580,000	1,900,000	680,000	
寄付金収入	(2,280,000)	(1,600,000)	(680,000)	
指定正味財産からの振替	(300,000)	(300,000)	(0)	
補助金・助成金収入	500,000	2,260,000	△ 1,760,000	
受取利息収入	160,110	4,414	155,696	
雑収入	67,386	130,133	△ 62,747	
経常収益計	512,596,179	465,858,728	46,737,451	
(2)経常費用				
事業費	430,087,122	415,604,524	14,482,598	
学会誌出版費	(37,514,842)	(41,156,646)	(△ 3,641,804)	
発送経費	(4,457,205)	(3,656,815)	(800,390)	
校正費	(6,958,048)	(3,209,180)	(3,748,868)	
顕彰関係費	(5,524,080)	(7,115,694)	(△ 1,591,614)	
奨学金	(7,200,000)	(1,800,000)	(5,400,000)	
給与手当	(33,267,532)	(31,934,938)	(1,332,594)	
臨時雇い賃金	(6,657,879)	(7,146,208)	(△ 488,329)	
法定福利費	(6,201,188)	(6,159,133)	(42,055)	
職員交通費	(993,857)	(993,857)	(0)	
会計顧問料	(550,000)	(550,000)	(0)	
事務所賃借料	(13,821,851)	(13,544,309)	(277,542)	
備品費	(0)	(0)	(0)	
文具消耗品費	(3,415,659)	(4,870,749)	(△ 1,455,090)	
光熱水料	(973,232)	(899,420)	(73,812)	
会場・会議費	(110,638,804)	(109,234,375)	(1,404,429)	学術集会会場費等
印刷費	(21,362,017)	(25,416,745)	(△ 4,054,728)	
通信・運搬費	(8,396,055)	(8,654,726)	(△ 258,671)	
旅費・交通費	(9,481,011)	(8,793,582)	(687,429)	
頒布資料印刷費	(429,000)	(5,826,530)	(△ 5,397,530)	
WFUMB機関誌購入費	(0)	(0)	(0)	
各種保険料	(0)	(0)	(0)	
支払手数料	(7,886,255)	(6,586,218)	(1,300,037)	
システム運営費	(36,330,583)	(31,049,506)	(5,281,077)	
租税公課	(4,685,064)	(3,335,811)	(1,349,253)	
業務委託費	(73,329,330)	(50,244,364)	(23,084,966)	
会費・分担金	(4,197,183)	(3,881,588)	(315,595)	AFSUMB分担金を含む
関連行事費	(7,821,070)	(22,257,149)	(△ 14,436,079)	
諸謝金	(9,539,832)	(9,497,564)	(42,268)	
雑費	(100,320)	(84,150)	(16,170)	
賞与引当金繰入額	(3,143,345)	(2,999,047)	(144,298)	
退職給付費用	(3,448,117)	(3,046,137)	(401,980)	
減価償却費	(1,763,763)	(1,660,083)	(103,680)	
管理費	50,918,321	45,427,260	5,491,061	
給与手当	(18,267,247)	(17,555,395)	(711,852)	
会計顧問料	(880,000)	(880,000)	(0)	
福利厚生費	(476,666)	(496,660)	(△ 19,994)	
法定福利費	(2,985,757)	(2,965,509)	(20,248)	
職員交通費	(478,523)	(478,523)	(0)	
事務所賃借料	(6,654,966)	(6,521,335)	(133,631)	
事務用機器賃借料	(925,320)	(923,136)	(2,184)	
備品費	(0)	(144,400)	(△ 144,400)	
文具消耗品費	(388,447)	(387,013)	(1,434)	
光熱水料	(468,592)	(433,055)	(35,537)	

科目	当年度	前年度	増減	備考
事務OA化費	(1,981,076)	(1,495,560)	(485,516)	
会場・会議費	(2,374,974)	(309,056)	(2,065,918)	
印刷費	(968,277)	(1,073,915)	(△ 105,638)	
通信・運搬費	(1,240,450)	(1,133,360)	(107,090)	
旅費交通費	(1,346,733)	(817,818)	(528,915)	
租税公課	(2,204,736)	(1,835,989)	(368,747)	
支払手数料	(2,459,349)	(2,417,059)	(42,290)	
システム運営費	(996,622)	(520,212)	(476,410)	
会費・分担金	(1,030,850)	(1,038,000)	(△ 7,150)	
各種保険料	(304,730)	(243,450)	(61,280)	
業務委託費	(897,600)	(396,000)	(501,600)	
雑費	(396,220)	(433,653)	(△ 37,433)	
賞与引当金繰入額	(1,513,464)	(1,443,986)	(69,478)	
退職給付費用	(1,660,205)	(1,466,659)	(193,546)	
減価償却費	(17,517)	(17,517)	(0)	
経常費用計	481,005,443	461,031,784	19,973,659	
当期経常増減額	31,590,736	4,826,944	26,763,792	
2.経常外増減の部				
(1)経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2)経常外費用	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	31,590,736	4,826,944	26,763,792	
一般正味財産期首残高	457,091,421	452,264,477	4,826,944	
一般正味財産期末残高	488,682,157	457,091,421	31,590,736	
II 指定正味財産増減の部				
受取交付金	0	0	0	
受取補助金等	0	0	0	
受取寄附金	0	0	0	
一般正味財産への振替額				
受取交付金	()	()	0)	
受取補助金等	()	()	0)	
受取寄附金	(△ 300,000)	(△ 300,000)	0)	
当期指定正味財産増減額	△ 300,000	△ 300,000	0	
指定正味財産期首残高	5,400,000	5,700,000	△ 300,000	
指定正味財産期末残高	5,100,000	5,400,000	△ 300,000	
III 正味財産期末残高	493,782,157	462,491,421	31,290,736	

1. 2-付

正味財産増減計算書 内訳表

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

	公益目的事業会計	収益事業等会計		収益事業等会計 小計	法人会計	内部取引控除	合計
		資格認定事業	会員相互補助事業				
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用収入	0	0	0	0	721		721
特定資産運用収入	4,389	0	0	0	0		4,389
入会金収入	807,750	0	0	0	807,750		1,615,500
会費収入	81,400,750	0	0	0	81,400,750		162,801,500
参加費収入	173,127,350	0	0	0	0		173,127,350
共催セミナー収入ほか	75,516,143	0	0	0	0		75,516,143
広告収入	7,218,800	0	0	0	0		7,218,800
試験・新規認定収入	0	46,960,500	0	46,960,500	0		46,960,500
更新認定収入	0	26,097,892	0	26,097,892	0		26,097,892
学会誌別刷収入	14,000	0	0	0	0		14,000
資料頒布収入	13,317,780	0	0	0	0		13,317,780
著作権・印税収入	2,614,108	0	0	0	0		2,614,108
寄付金収入	2,280,000	0	0	0	0		2,280,000
指定正味財産からの振替	300,000	0	0	0	0		300,000
補助金・助成金収入	500,000	0	0	0	0		500,000
受取利息収入	70,831	0	0	0	89,279		160,110
雑収入	27,403	0	0	0	39,983		67,386
経常収益計	357,199,304	73,058,392	0	73,058,392	82,338,483	0	512,596,179
(2) 経常費用							
事業費							
学会誌出版費	37,514,842	0	0	0			37,514,842
発送経費	4,457,205	0	0	0			4,457,205
校正費	6,958,048	0	0	0			6,958,048
表彰関係費	5,524,080	0	0	0			5,524,080
奨学金	7,200,000	0	0	0			7,200,000
給与手当	23,552,076	8,498,745	1,216,711	9,715,456			33,267,532
臨時雇い賃金	4,525,700	2,132,179	0	2,132,179			6,657,879
会計顧問料	550,000	0	0	0			550,000
法定福利費	4,455,668	1,515,846	229,674	1,745,520			6,201,188
職員交通費	714,104	242,943	36,810	279,753			993,857
事務所賃借料	9,931,256	3,378,675	511,920	3,890,595			13,821,851
文具消耗品費	3,224,095	183,504	8,060	191,564			3,415,659
光熱水料	699,285	237,901	36,046	273,947			973,232
会場・会議費	100,601,607	10,014,877	22,320	10,037,197			110,638,804
印刷費	17,970,613	3,373,364	18,040	3,391,404			21,362,017
通信・運搬費	3,683,231	4,612,598	100,226	4,712,824			8,396,055
旅費・交通費	7,334,818	2,146,193	0	2,146,193			9,481,011
頒布資料印刷費	429,000	0	0	0			429,000
支払手数料	6,526,026	1,360,229	0	1,360,229			7,886,255
システム運営費	34,184,643	2,145,940	0	2,145,940			36,330,583
租税公課	3,686,043	999,021	0	999,021			4,685,064
業務委託費	72,023,797	1,305,533	0	1,305,533			73,329,330
会費・分担金	4,197,183	0	0	0			4,197,183
関連行事費	7,821,070	0	0	0			7,821,070
諸謝金	6,208,332	3,331,500	0	3,331,500			9,539,832
雑費	0	100,320	0	100,320			100,320
賞与引当金繰入額	2,258,552	768,373	116,420	884,793			3,143,345
退職給付費用	2,477,536	842,873	127,708	970,581			3,448,117
減価償却費	399,713	1,362,702	1,348	1,364,050			1,763,763
事業費計	379,108,523	48,553,316	2,425,283	50,978,599	0	0	430,087,122
管理費							
給与手当					18,267,247		18,267,247
会計顧問料					880,000		880,000
福利厚生費					476,666		476,666
法定福利費					2,985,757		2,985,757
職員交通費					478,523		478,523
事務所賃借料					6,654,966		6,654,966
事務用機器賃借料					925,320		925,320
備品費					0		0
文具消耗品費					388,447		388,447
光熱水料					468,592		468,592
事務所OA化費					1,981,076		1,981,076
会場・会議費					2,374,974		2,374,974
印刷費					968,277		968,277
通信・運搬費					1,240,450		1,240,450
旅費交通費					1,346,733		1,346,733
租税公課					2,204,736		2,204,736
支払手数料					2,459,349		2,459,349
システム運営費					996,622		996,622
会費・分担金					1,030,850		1,030,850
各種保険料					304,730		304,730
業務委託費					897,600		897,600
雑費					396,220		396,220
賞与引当金繰入額					1,513,464		1,513,464
退職給付費用					1,660,205		1,660,205
減価償却費					17,517		17,517
管理費計	0	0	0	0	50,918,321	0	50,918,321
経常費用計	379,108,523	48,553,316	2,425,283	50,978,599	50,918,321	0	481,005,443
当期経常増減額	△ 21,909,219	24,505,076	△ 2,425,283	22,079,793	31,420,162	0	31,590,736
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 21,909,219			22,079,793	31,420,162	0	31,590,736
他会計振替額	43,142,228			△ 9,378,407	△ 33,763,821	0	0
当期正味財産増減額	21,233,009			12,701,386	△ 2,343,659	0	31,590,736
一般正味財産期首残高	223,063,111			38,626,743	195,401,567	0	457,091,421
一般正味財産期末残高	244,296,120			51,328,129	193,057,908	0	488,682,157
II 指定正味財産増減の部							
受取交付金	0	0	0	0	0	0	0
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0
受取寄附金	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産へ振替	300,000	0	0	0	0	0	300,000
受取寄附金	(300,000)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(300,000)
当期指定正味財産増減額	△ 300,000	0	0	0	0	0	△ 300,000
指定正味財産期首残高	5,400,000			0	0	0	5,400,000
指定正味財産期末残高	5,100,000	0	0	0	0	0	5,100,000
III 正味財産期末残高	249,396,120			51,328,129	193,057,908	0	493,782,157

1. 3
財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
法人税法に規定する定額法による。
- (2) 引当金の計上基準
- ①退職給付引当金
職員に対する退職給与の支給に備えるため、法人都合による期末要支給額を計上している。
- ②賞与引当金
職員に支給する賞与の支出に充当するため、支給見込額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減とその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	備考
基本財産					
定期預金	36,000,000	0	0	36,000,000	
小 計	36,000,000	0	0	36,000,000	
特定資産					
退職給付引当預金	85,586,010	3,500,000	0	89,086,010	
減価償却引当預金	2,500,000	0	0	2,500,000	
国際交流基金	4,500,000	0	0	4,500,000	
システム関連基金	13,000,000	0	0	13,000,000	
事務所整備基金	30,000,000	0	0	30,000,000	
学術奨励基金	88,100,000	0	0	88,100,000	
伊東賞基金	14,136,631	0	600,000	13,536,631	
工藤賞基金	5,400,000	0	300,000	5,100,000	
啓発準備資金	15,300,000	10,000,000	9,167,746	16,132,254	
教育関連準備資金	8,637,226	0	2,087,770	6,549,456	
データベース整備資金	26,685,096	9,000,000	21,846,000	13,839,096	
学術集会準備資金	36,000,000	13,000,000	4,500,000	44,500,000	
小 計	329,844,963	35,500,000	38,501,516	326,843,447	
合 計	365,844,963	35,500,000	38,501,516	362,843,447	

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	うち指定正味財産 からの充当額	うち一般正味財産 からの充当額	うち負債に 対応する額
基本財産			0	
定期預金	36,000,000	0	36,000,000	0
小 計	36,000,000	0	36,000,000	0
特定資産				
退職給付引当預金	89,086,010	-	-	89,086,010
減価償却引当預金	2,500,000	-	2,500,000	-
国際交流基金	4,500,000	-	4,500,000	-
システム関連基金	13,000,000	-	13,000,000	-
事務所整備基金	30,000,000	-	30,000,000	-
学術奨励基金	88,100,000	-	88,100,000	-
伊東賞基金	13,536,631	-	13,536,631	-
工藤賞基金	5,100,000	5,100,000	-	-
啓発準備資金	16,132,254	-	16,132,254	-
教育関連準備資金	6,549,456	-	6,549,456	-
データベース整備資金	13,839,096	-	13,839,096	-
学術集会準備資金	44,500,000	-	44,500,000	-
小 計	326,843,447	5,100,000	232,657,437	89,086,010
合 計	362,843,447	5,100,000	268,657,437	89,086,010

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物付属設備	3,690,600	3,690,598	2
什器備品	6,858,288	6,370,408	487,880
ソフトウェア	7,744,000	5,039,465	2,704,535
合計	18,292,888	15,100,471	3,192,417

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	備考
地方会学術集会補助金	広島大学同門会	0	500,000	500,000	0	注
合計		0	500,000	500,000	0	

注) 当該事業年度内に目的たる支出が完了するため、貸借対照表上の記載はありません。

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内 容	金 額
経常収益への振替額	
寄付金収入	300,000
合 計	300,000

1. 4

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記3及び4に記載しているので、内容の記載を省略している。

2. 引当金の明細

引当金の明細は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	92,032,410	5,108,322			97,140,732
賞与引当金	4,443,033	4,656,809	4,443,033		4,656,809

以上

1. 5

財産目録

令和7年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手許保管	運転資金	215,882
普通預金	りそな銀行 本郷支店	同上	56,163,435
	りそな銀行 本郷支店	同上	1,910,900
	りそな銀行 本郷支店	同上	101,719,136
	三井住友信託銀行 芝営業部	同上	99,148
	三井住友銀行 神田支店	同上	318,947
	みずほ銀行 本郷支店	同上	6,248,551
	三菱UFJ銀行 本郷支店	同上	15,017,497
	三菱UFJ銀行 春日町支店	同上	1,851,902
	ゆうちょ銀行	同上	899,341
定期預金	三菱UFJ銀行 本郷支店	同上	330,000
	三菱UFJ銀行 本郷支店	同上	
郵便振替	00130-8-93294	同上	
前払金	会費・分担金に関する前払い	法人会計の前払分	2,612,401
	保険料に関する前払い	法人会計の前払分	72,000
			232,090
	学術集会補助金前払い	(公益目的事業)学術集会事業の前払分	42,500,000
	会費・分担金に関する前払い	(公益目的事業)調査研究事業の前払分	
	講習会会場費に関する前払い	(公益目的事業)教育・啓蒙に関する事業の前払分	990,000
	試験会場費に関する前払い	(収益事業等)認定事業の前払分	1,235,520
仮払金	学術集会貸付金等	(公益目的事業)学術集会事業等の仮払分	5,000,000
未収入金	会費に関する未収	法人会計の未収分	210,376
	学術集会事業等未返金分	(公益目的事業)学術集会事業の未返金分	281,426
	頒布資料に関する未収	(公益目的事業)出版事業の未収分	
	講習会等に関する未収	(公益目的事業)講習会事業の未収分	1,187,048
	e-learning配信に関する未収額ほか	(公益目的事業)出版事業の未収分	100,858
流動資産 合計			239,196,458
(固定資産)			
基本財産			
定期預金	三井住友信託銀行 芝営業部(定期預金)	公益目的事業に必要なその他の活動の用に供する財産。 運用益を管理費に充当	36,000,000
特定資産			
退職給付引当預金	りそな銀行 本郷支店(定期預金)	(法人会計)退職給付引当金に対応する積立資産	56,186,010
"	三井住友銀行 神田支店(定期預金)	同上	4,900,000
"	三菱UFJ銀行 本郷支店(定期預金)	同上	28,000,000
減価償却引当預金	りそな銀行 本郷支店(定期預金)	法人の管理運営の用に供するために保有している積立資産	2,500,000
国際交流基金	三菱UFJ銀行 本郷支店(定期預金)	(公益目的事業)国際交流事業の基金	4,500,000
システム関連基金	りそな銀行 本郷支店(定期預金)	(公益目的事業)広報関連事業の基金	13,000,000
事務所整備基金	三菱UFJ銀行 春日町支店(定期預金)	法人の管理運営の用に供するために保有している積立資産	30,000,000
学術奨励基金	みずほ銀行 本郷支店(定期預金)	(公益目的事業)調査研究及び教育・啓蒙に関する事業の基金	65,500,000
"	三菱UFJ銀行 本郷支店(定期預金)	同上	22,600,000
工藤賞基金	ゆうちょ銀行(定期貯金)	(公益目的事業)顕彰事業の基金	5,100,000
伊東賞基金	みずほ銀行 本郷支店(定期預金)	同上	13,536,631
啓発準備資金	りそな銀行 本郷支店(定期預金)	(公益目的事業)広報関連事業の特定費用準備資金	16,132,254
教育関連準備資金	三菱UFJ銀行 本郷支店(定期預金)	(公益目的事業)教育事業の特定費用準備資金	6,549,456
データベース整備資金	三菱UFJ銀行 本郷支店(定期預金)	(公益目的事業)調査研究事業の特定費用準備資金	13,839,096
学術集会準備資金	三菱UFJ銀行 本郷支店(定期預金)	(公益目的事業)学術集会事業の特定費用準備資金	44,500,000
その他固定資産			
建物付属設備	事務所に付随する設備	共用財産。うち47.0%は公益目的保有財産として 公益目的事業に供し、20.5%は収益事業他に供し、 32.5%は管理運営に供している	2
什器備品	会議テーブル、椅子、音響システムほか	共用財産。うち47.0%は公益目的保有財産として 公益目的事業に供し、36.0%は収益事業他に供し、 17.0%は管理運営に供している	4,500
什器備品	計測機器ほか	(公益事業)学術集会、調査研究及び教育・啓蒙に関する事業に供している	483,380
ソフトウェア	講習会等申込システム	(公益事業)調査研究及び教育・啓蒙に関する事業に供している	375,284
ソフトウェア	認定試験システムほか	(収益事業)認定事業に供している	2,329,251
敷金	事務所借室 お茶の水センタービル	共用財産。うち47.0%は公益目的保有財産として 公益目的事業に供し、20.5%は収益事業他に供し、 32.5%は管理運営に供している	15,176,700
固定資産 合計			381,212,564
資産 合計			620,409,022
(流動負債)			
未払金	未払消費税	(法人会計)法人の運営管理業務に関連した未払金	2,923,700
	管理費に関する未払金	同上	129,800
	学会誌制作費ほか	(公益目的事業)出版事業に関する未払金	8,290,477
	印刷費ほか	(公益目的事業)教育・啓蒙事業に関する未払金	5,624,000
	印刷費ほか	(収益事業等)認定事業に関する未払金	
前受会費	次年度以降会費受入額	法人の運営管理業務に関連した前受金	2,147,969
前受金	試験・更新に関する受入額	(収益事業)認定事業の前受金	2,625,000
	会員管理に関する手数料	(法人会計)在外会員手数料	0
預り金	雇用保険に関する預り金	(法人会計)法人の運営管理業務に関連した預り金	344,699
	所得税に関する預り金	(公益目的事業)学術集会事業等の預り金	
会費仮受金	新規入会金・初年度会費等に関する受入額	法人の運営管理業務に関連した仮受金	2,211,000
仮受金	不明入金等	法人会計の仮受分	532,679
賞与引当金	令和7年6月の職員賞与支給の見込み額	各事業と法人の管理運営業務に関連した引当金	4,656,809
流動負債 合計			29,486,133
(固定負債)			
退職給付引当金	令和6年度末日における法人都合による 期末要支給額	各事業と法人の管理運営業務に関連した引当金(簡便法)	97,140,732
固定負債 合計			97,140,732
負債 合計			126,626,865
正味財産			493,782,157

2. 1

収支計算書(資金収支計算ベース)
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	720	721	△ 1	
入会金収入	1,300,000	1,615,500	△ 315,500	
会費収入	165,435,500	162,801,500	2,634,000	
正会員会費	(78,650,000)	(76,246,000)	(2,404,000)	
シニア会員会費	(15,400,000)	(14,757,000)	(643,000)	
準会員会費	(69,700,000)	(70,311,000)	(△ 611,000)	
学生会員会費	(45,500)	(87,500)	(△ 42,000)	
賛助会員会費	(1,640,000)	(1,400,000)	(240,000)	
学術集会関係	123,481,000	189,907,438	△ 66,426,438	97回学術集会(横浜市)
参加費収入	(67,140,000)	(133,314,000)	(△ 66,174,000)	
共催セミナー収入ほか	(53,834,000)	(53,812,000)	(22,000)	
広告収入	(1,507,000)	(1,727,000)	(△ 220,000)	
寄付金収入	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)	
受取利息	(0)	(54,438)	(△ 54,438)	
地方会関係	46,502,500	52,762,443	△ 6,259,943	
参加費収入	(17,719,000)	(23,784,950)	(△ 6,065,950)	
共催セミナー収入ほか	(19,488,000)	(21,704,143)	(△ 2,216,143)	
広告収入	(6,765,500)	(5,450,000)	(1,315,500)	
資料頒布収入	(20,000)	(27,000)	(△ 7,000)	
寄付金収入	(2,510,000)	(1,280,000)	(1,230,000)	
補助金・助成金収入	(0)	(500,000)	(△ 500,000)	
受取利息	(0)	(16,019)	(△ 16,019)	
雑収入	(0)	(331)	(△ 331)	
編集委員会	1,824,900	2,380,648	△ 555,748	
学会誌別刷収入	(45,000)	(14,000)	(31,000)	
広告収入	(160,000)	(41,800)	(118,200)	
著作権・印税収入	(1,400,000)	(2,132,508)	(△ 732,508)	著作権使用料
資料頒布収入	(219,900)	(192,340)	(27,560)	抄録集頒布代ほか
研究会関係	0	27,446	△ 27,446	
受取利息	()	(374)	(△ 374)	
雑収入	()	(27,072)	(△ 27,072)	自己資金持ち出し
教育委員会	55,000	8,800	46,200	
資料頒布収入	(55,000)	(8,800)	(46,200)	クリアフォルダ
教育セッション関係	3,600,000	4,809,000	△ 1,209,000	
参加費収入	(3,600,000)	(4,809,000)	(△ 1,209,000)	会場開催・Web開催
講習会関係	11,600,000	7,926,000	3,674,000	
参加費収入	(11,600,000)	(7,926,000)	(3,674,000)	
必修講習会	19,585,280	13,611,400	5,973,880	
参加費収入	(3,273,600)	(3,293,400)	(△ 19,800)	会場開催・Web開催
資料頒布収入	(16,311,680)	(10,318,000)	(5,993,680)	e-learning
専門医制度委員会	12,912,000	12,459,140	452,860	
試験・新規認定収入	(4,844,000)	(4,357,500)	(486,500)	受験料/認定料
更新認定収入	(5,340,000)	(5,330,000)	(10,000)	
資料頒布収入	(2,728,000)	(2,771,640)	(△ 43,640)	専門医認定試験問題集
工学フェロ-認定審査委員会	42,500	62,500	△ 20,000	
新規認定収入	(15,000)	(30,000)	(△ 15,000)	
更新認定収入	(27,500)	(32,500)	(△ 5,000)	
検査士制度委員会	66,455,000	63,789,992	2,665,008	
試験・新規認定収入	(45,244,000)	(42,573,000)	(2,671,000)	受験料/認定料
更新認定収入	(20,725,000)	(20,735,392)	(△ 10,392)	
著作権・印税収入	(486,000)	(481,600)	(4,400)	検査士問題集印税
特定資産運用収入	4,163	4,389	△ 226	
受取利息収入	2,362	89,279	△ 86,917	
雑収入	4,000	39,983	△ 35,983	
事業活動収入計 (A)	452,804,925	512,296,179	△ 59,491,254	

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
2. 事業活動支出				
事業費				
学術集会関係	115,400,038	134,369,339	△ 18,969,301	学術集会補助金:2,500,000円
会計顧問料	(440,000)	(550,000)	(△ 110,000)	
文具消耗品費	(0)	(1,127,720)	(△ 1,127,720)	
会場・会議費	(39,155,898)	(71,028,097)	(△ 31,872,199)	
印刷費	(10,795,795)	(5,793,392)	(5,002,403)	
通信・運搬費	(106,400)	(156,712)	(△ 50,312)	
旅費交通費	(115,500)	(3,647,017)	(△ 3,531,517)	
支払手数料	(0)	(4,123,000)	(△ 4,123,000)	
システム運営費	(25,585,092)	(9,527,451)	(16,057,641)	
業務委託費	(27,539,768)	(30,594,880)	(△ 3,055,112)	
関連行事費	(9,002,675)	(7,821,070)	(1,181,605)	
雑費	(2,658,910)	(0)	(2,658,910)	
学術集会(本部)・委員会	5,907,283	5,301,140	606,143	
臨時雇い賃金	(100,000)	(0)	(100,000)	
会場・会議費	(52,400)	(35,340)	(17,060)	
会場・会議費	(2,000,000)	(293,700)	(1,706,300)	市民公開講座 ※特定費用準備資金
印刷費	(1,000,000)	(550,000)	(450,000)	市民公開講座 ※特定費用準備資金
通信・運搬費	(23,000)	(137,170)	(△ 114,170)	
旅費交通費	(531,883)	(478,435)	(53,448)	
システム運営費	(200,000)	(13,200)	(186,800)	
業務委託費	(2,000,000)	(3,793,295)	(△ 1,793,295)	市民公開講座 ※特定費用準備資金
地方会関係	61,826,800	64,355,246	△ 2,528,446	
臨時雇い賃金	(6,894,600)	(4,436,502)	(2,458,098)	
文具消耗品費	(1,578,400)	(1,767,377)	(△ 188,977)	
会場・会議費	(19,265,000)	(23,390,419)	(△ 4,125,419)	
印刷費	(8,438,400)	(7,163,283)	(1,275,117)	
通信・運搬費	(1,579,000)	(834,448)	(744,552)	
旅費交通費	(1,536,000)	(795,295)	(740,705)	
支払手数料	(310,400)	(1,312,910)	(△ 1,002,510)	
システム運営費	(805,000)	(2,303,861)	(△ 1,498,861)	
業務委託費	(18,610,000)	(20,490,340)	(△ 1,880,340)	
各種賞金	(760,000)	(424,080)	(335,920)	
諸謝金	(2,050,000)	(1,436,731)	(613,269)	
地方会(本部)・委員会	2,456,640	2,723,400	△ 266,760	
文具消耗品費	(0)	(4,600)	(△ 4,600)	
会場・会議費	(82,640)	(31,620)	(51,020)	
通信・運搬費	(10,000)	(1,200)	(8,800)	
支払手数料	(2,364,000)	(0)	(2,364,000)	
システム運営費	(0)	(2,685,980)	(△ 2,685,980)	
編集委員会	48,612,800	49,893,833	△ 1,281,033	
学会誌出版費	(35,835,800)	(37,514,842)	(△ 1,679,042)	
発送経費	(5,155,000)	(4,457,205)	(697,795)	
校正費	(6,740,000)	(6,916,910)	(△ 176,910)	
諸謝金	(500,000)	(439,911)	(60,089)	
支払手数料	(0)	(81,899)	(△ 81,899)	
システム運営費	(382,000)	(468,600)	(△ 86,600)	
会場・会議費	(0)	(6,480)	(△ 6,480)	
通信・運搬費	(0)	(2,996)	(△ 2,996)	
旅費交通費	(0)	(4,990)	(△ 4,990)	
研究開発促進委員会	187,420	6,360	181,060	
文具消耗品費	(1,500)	(0)	(1,500)	
会場・会議費	(25,920)	(0)	(25,920)	
印刷費	(0)	(5,500)	(△ 5,500)	
通信・運搬費	(10,000)	(860)	(9,140)	
旅費交通費	(150,000)	(0)	(150,000)	
研究会関係	1,050,000	865,381	184,619	3研究会
臨時雇い賃金	(0)	(65,000)	(△ 65,000)	
文具消耗品費	(200,000)	(277,698)	(△ 77,698)	
会場・会議費	(530,000)	(114,745)	(415,255)	
印刷費	(130,000)	(13,003)	(116,997)	
通信・運搬費	(40,000)	(25,690)	(14,310)	
旅費交通費	(100,000)	(365,295)	(△ 265,295)	
支払手数料	(0)	(3,950)	(△ 3,950)	
諸謝金	(50,000)	(0)	(50,000)	
顕彰委員会	6,167,242	5,564,125	603,117	
各種賞金	(5,200,000)	(5,100,000)	(100,000)	各種賞金
文具消耗品費	(0)	(14,150)	(△ 14,150)	
会場・会議費	(210,112)	(13,560)	(196,552)	
印刷費	(50,930)	(69,520)	(△ 18,590)	
通信・運搬費	(30,000)	(5,297)	(24,703)	
旅費交通費	(676,200)	(320,460)	(355,740)	
校正費	(0)	(41,138)	(△ 41,138)	

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
用語・診断基準委員会	1,265,630	356,572	909,058	
校正費	(300,000)	(0)	(300,000)	
会費・分担金	(310,000)	(310,000)	(0)	日本乳がん検診精度管理中央機構
会場・会議費	(208,080)	(43,160)	(164,920)	
通信・運搬費	(3,000)	(3,412)	(△ 412)	
旅費交通費	(244,550)	(0)	(244,550)	
システム運営費	(200,000)	(0)	(200,000)	
機器及び標準化に関する委員会	11,735,020	2,150,878	9,584,142	
会場・会議費	(164,000)	(22,928)	(141,072)	
会場・会議費	(20,000)	(0)	(20,000)	※特定費用準備資金
印刷費	(10,000,000)	(1,749,000)	(8,251,000)	※特定費用準備資金
旅費交通費	(975,620)	(40,180)	(935,440)	
旅費交通費	(575,400)	(338,770)	(236,630)	※特定費用準備資金
安全委員会	609,045	824,484	△ 215,439	
会費・分担金	(200,000)	(200,000)	(0)	日本医療安全調査機構
会場・会議費	(62,120)	(27,168)	(34,952)	
通信・運搬費	(1,000)	(0)	(1,000)	
旅費交通費	(345,925)	(597,316)	(△ 251,391)	
教育委員会	1,027,980	0	1,027,980	
会場・会議費	(71,840)	(0)	(71,840)	
通信・運搬費	(3,000)	(0)	(3,000)	
旅費交通費	(953,140)	(0)	(953,140)	
教育セッション関係	1,617,987	3,931,282	△ 2,313,295	
業務委託費	(330,000)	(1,445,906)	(△ 1,115,906)	
諸謝金	(567,987)	(710,764)	(△ 142,777)	講師旅費を含む
会場・会議費	(0)	(990,000)	(△ 990,000)	
印刷費	(550,000)	(647,680)	(△ 97,680)	教育セッションテキスト含む
通信・運搬費	(20,000)	(0)	(20,000)	
支払手数料	(0)	(136,932)	(△ 136,932)	
旅費交通費	(150,000)	(0)	(150,000)	
講習会関係	13,452,840	10,867,124	2,585,716	講習会4回(現地+オンデマンド)
システム運営費	(990,000)	(1,219,350)	(△ 229,350)	
業務委託費	(2,000,000)	(1,577,180)	(422,820)	
諸謝金	(1,336,440)	(2,978,074)	(△ 1,641,634)	講師旅費を含む
臨時雇い賃金	(0)	(24,198)	(△ 24,198)	
文具消耗品費	(0)	(32,550)	(△ 32,550)	
会場・会議費	(5,486,400)	(3,248,970)	(2,237,430)	
印刷費	(600,000)	(624,360)	(△ 24,360)	講習会テキスト含む
通信・運搬費	(100,000)	(142,821)	(△ 42,821)	
旅費交通費	(2,940,000)	(715,140)	(2,224,860)	
支払手数料	(0)	(304,481)	(△ 304,481)	
必修講習会	3,721,374	3,691,502	29,872	
頒布資料印刷費	(341,000)	(429,000)	(△ 88,000)	
業務委託費	(999,800)	(900,196)	(99,604)	
諸謝金	(169,174)	(222,852)	(△ 53,678)	講師旅費を含む
会場・会議費	(1,280,000)	(1,351,100)	(△ 71,100)	
印刷費	(225,500)	(225,500)	(0)	講習会テキスト含む
支払手数料	(705,900)	(562,854)	(143,046)	
専門医制度委員会	6,109,436	5,121,642	987,794	
システム運営費	(110,000)	(160,000)	(△ 50,000)	
業務委託費	(173,250)	(165,000)	(8,250)	
諸謝金	(840,000)	(862,000)	(△ 22,000)	
臨時雇い賃金	(718,000)	(257,400)	(460,600)	
文具消耗品費	(0)	(65,299)	(△ 65,299)	
会場・会議費	(1,532,300)	(1,578,992)	(△ 46,692)	
印刷費	(728,200)	(544,500)	(183,700)	
通信・運搬費	(643,786)	(624,176)	(19,610)	
旅費交通費	(1,353,900)	(831,235)	(522,665)	
支払手数料	(10,000)	(4,000)	(6,000)	
雑費	(0)	(29,040)	(△ 29,040)	
工学フェロー認定審査委員会	51,544	16,697	34,847	
会場・会議費	(4,400)	(0)	(4,400)	
通信・運搬費	(15,844)	(13,517)	(2,327)	
旅費交通費	(31,300)	(3,180)	(28,120)	

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
検査士制度委員会	24,946,800	24,953,596	△ 6,796	
システム運営費	(1,000,000)	(1,985,940)	(△ 985,940)	
業務委託費	(1,845,000)	(1,140,533)	(704,467)	
諸謝金	(2,557,500)	(2,469,500)	(88,000)	
臨時雇い賃金	(1,990,500)	(1,874,779)	(115,721)	
文具消耗品費	(200,000)	(118,205)	(81,795)	
会場・会議費	(7,958,700)	(8,435,885)	(△ 477,185)	
印刷費	(3,213,500)	(2,828,864)	(384,636)	
通信・運搬費	(2,993,500)	(3,360,603)	(△ 367,103)	
旅費交通費	(1,493,500)	(1,311,778)	(181,722)	
支払手数料	(1,651,600)	(1,356,229)	(295,371)	
雑費	(43,000)	(71,280)	(△ 28,280)	
国際交流委員会	9,965,948	11,343,423	△ 1,377,475	
奨学金	(6,200,000)	(7,200,000)	(△ 1,000,000)	
会費・分担金	(3,282,828)	(3,687,183)	(△ 404,355)	AFSUMB分担金
諸謝金	(310,000)	(420,000)	(△ 110,000)	
会場・会議費	(15,120)	(4,320)	(10,800)	
通信・運搬費	(10,000)	(0)	(10,000)	
旅費交通費	(148,000)	(31,920)	(116,080)	
広報委員会	21,719,800	11,038,527	10,681,273	
システム運営費	(2,839,400)	(1,829,201)	(1,010,199)	
システム運営費	(7,726,400)	(0)	(7,726,400)	※特定費用準備資金
印刷費	(0)	(1,129,375)	(△ 1,129,375)	※特定費用準備資金
通信・運搬費	(0)	(566,951)	(△ 566,951)	※特定費用準備資金
業務委託費	(11,154,000)	(7,513,000)	(3,641,000)	※特定費用準備資金
在リ方委員会	74,252	0	74,252	
通信・運搬費	(6,000)	(0)	(6,000)	
旅費交通費	(68,252)	(0)	(68,252)	
キャリア支援・ダイバーシティー推進委員会	121,120	49,333	71,787	
文具消耗品費	(0)	(8,060)	(△ 8,060)	
会場・会議費	(82,120)	(22,320)	(59,800)	
印刷費	(30,000)	(18,040)	(11,960)	
通信・運搬費	(9,000)	(913)	(8,087)	
災害対策委員会	35,960	6,237	29,723	
会場・会議費	(32,960)	(0)	(32,960)	
通信・運搬費	(3,000)	(6,237)	(△ 3,237)	
超音波画像のデータベース構築・利活用推進委員会	24,179,450	21,846,000	2,333,450	
システム運営費	(4,598,000)	(16,137,000)	(△ 11,539,000)	※特定費用準備資金
文具消耗品費	(50,000)	(0)	(50,000)	※特定費用準備資金
会議・会場費	(120,000)	(0)	(120,000)	※特定費用準備資金
旅費交通費	(1,050,000)	(0)	(1,050,000)	※特定費用準備資金
業務委託費	(17,133,450)	(5,709,000)	(11,424,450)	※特定費用準備資金
諸謝金	(1,228,000)	(0)	(1,228,000)	※特定費用準備資金
事業費計	362,242,409	359,276,121	2,966,288	
管理費				
給与手当	53,441,000	55,977,812	△ 2,536,812	
会計顧問料	880,000	880,000	0	
福利厚生費	515,000	476,666	38,334	
法定福利費	9,500,000	9,186,945	313,055	
職員交通費	1,472,500	1,472,380	120	
事務所賃借料	20,065,700	20,476,817	△ 411,117	
事務用機器賃借料	923,200	925,320	△ 2,120	
備品費	200,000	0	200,000	
文具消耗品費	330,000	388,447	△ 58,447	
光熱水料	1,400,000	1,441,824	△ 41,824	
事務OA化費	2,000,000	1,981,076	18,924	
会場・会議費	450,000	2,374,974	△ 1,924,974	
印刷費	1,100,000	968,277	131,723	
通信・運搬費	3,450,000	3,723,040	△ 273,040	
旅費交通費	800,000	1,339,773	△ 539,773	
各種保険料	250,000	304,730	△ 54,730	
租税公課	7,100,000	6,889,800	210,200	消費税
支払手数料	3,200,000	2,459,349	740,651	
システム運営費	280,000	413,622	△ 133,622	
会費・分担金	440,000	430,850	9,150	日本医学会連合・公益法人協会ほか
業務委託費	897,600	897,600	0	
雑費	500,000	396,220	103,780	

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
保険委員会	625,000	601,740	23,260	
会費・分担金	(600,000)	(600,000)	(0)	内保連、外保連
会場・会議費	(20,000)	(0)	(20,000)	
通信・運搬費	(5,000)	(0)	(5,000)	
旅費交通費	(0)	(1,740)	(△ 1,740)	
規約関係	5,000	13,442	△ 8,442	
通信・運搬費	(5,000)	(13,442)	(△ 8,442)	
選挙関係	548,840	605,240	△ 56,400	
通信・運搬費	(3,000)	(17,020)	(△ 14,020)	
旅費交通費	(193,840)	(5,220)	(188,620)	
システム運営費	(352,000)	(583,000)	(△ 231,000)	
管理費計	110,373,840	114,625,944	△ 4,252,104	
事業活動支出計 (B)	472,616,249	473,902,065	△ 1,285,816	
事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)	△ 19,811,324	38,394,114	△ 58,205,438	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定預金取崩収入	49,400,000	38,501,516	10,898,484	
伊東賞基金取崩収入	(600,000)	(600,000)	(0)	
工藤賞基金取崩収入	(300,000)	(300,000)	(0)	※指定正味財産
超音波医学啓発準備資金取崩収入	(10,000,000)	(9,167,746)	(832,254)	※特定費用準備資金
教育関連準備資金取崩収入	(10,000,000)	(2,087,770)	(7,912,230)	※特定費用準備資金
データベース整備資金取崩収入	(24,000,000)	(21,846,000)	(2,154,000)	※特定費用準備資金
学術集会準備資金取崩収入	(4,500,000)	(4,500,000)	(0)	※特定費用準備資金
投資活動収入計 (D)	49,400,000	38,501,516	10,898,484	
2. 投資活動支出				
特定預金繰入支出	35,500,000	35,500,000	0	
退職給付引当預金支出	(3,500,000)	(3,500,000)	(0)	
超音波医学啓発準備資金組入支出	(10,000,000)	(10,000,000)	(0)	※特定費用準備資金
データベース整備資金組入支出	(9,000,000)	(9,000,000)	(0)	※特定費用準備資金
学術集会準備資金組入支出	(13,000,000)	(13,000,000)	(0)	※特定費用準備資金
什器備品購入支出	0	518,400	△ 518,400	
投資活動支出計 (E)	35,500,000	36,018,400	△ 518,400	
投資活動収支差額 (F)=(D)-(E)	13,900,000	2,483,116	11,416,884	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入			0	
財務活動収入計 (G)	0	0	0	
2. 財務活動支出			0	
財務活動支出計 (H)	0	0	0	
財務活動収支差額 (J)=(G)-(H)	0	0	0	
IV 予備費支出				
		-	0	
当期収支差額 (K)=(C)+(F)+(J)	△ 5,911,324	40,877,230	△ 46,788,554	
前期繰越収支差額 (L)	0	173,489,904	△ 173,489,904	
次期繰越収支差額 (K)+(L)	0	214,367,134	△ 214,367,134	

2. 2

収支計算書(資金収支計算ベース)に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収入金、前払金、仮払金、未払金、前受会費、前受金、預り金、会費仮受金及び仮受金を含めている。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳は、次のとおりである。

	前期末残高	当期末残高
現金預金	172,050,988	187,387,140
前払金	5,722,642	45,029,610
仮払金	21,150,563	5,000,000
未収入金	2,174,437	1,779,708
合計(A)	201,098,630	239,196,458
未払金	19,409,922	16,967,977
前受会費	1,298,909	2,147,969
前受金	2,931,000	2,625,000
預り金	348,974	344,699
会費仮受金	3,210,000	2,211,000
仮受金	409,921	532,679
合計(B)	27,608,726	24,829,324
次期繰越収支差額(A－B)	173,489,904	214,367,134

監査報告書

公益社団法人日本超音波医学会

理事長 岩永 史郎 殿

令和7年4月22日

監事

南池 昭彦



監事

日浅 陽一



私は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの令和6年会計年度における会計および業務監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査 帳簿および関係書類並びに計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査 理事会およびその他の会議に出席し、理事からの業務報告および関係書類により業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録は、会計帳簿の記載と一致し、法人の収支状況および財政状態を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は事実であると認める。
理事の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する事実はないと認める。

以上

監査報告書

2025 年 4 月 22 日

公益社団法人日本超音波医学会

理事長 岩永 史郎 殿

馬目公認会計士事務所

公認会計士

馬目 和昭



1. 監査の方法と概要

私は、公益社団法人日本超音波医学会の 2024 年度（2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで）の貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにその附属明細書並びに財務諸表に対する注記について監査し、併せて、貸借対照表内訳表及び正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行いました。

監査に当たって、私は、試査を基礎とし、通帳、請求書、領収書等の関係証憑と会計帳簿間の照合、及び財務諸表等が適正に作成されているか検討を行いました。

2. 監査意見

監査の結果、私は、上記の財務諸表等が、一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、公益社団法人日本超音波医学会の 2024 年度末日現在の財政状態及び同事業年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

(資料 4)

公益社団法人日本超音波医学会 令和7年度事業計画書

(自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日)

令和7年度における本会の事業計画は次のとおりである。

[公益目的事業 学会誌等出版事業]

I 学会誌の発行

和文誌「超音波医学」(7冊):第52巻 Supplement号、3～6号及び第53巻1・2号並びに英文誌「Journal of Medical Ultrasonics」(4冊):第52巻2～4号及び第53巻1号の計11冊を発行する。

II 学術集会

学術集会を下記のとおり年1回開催し、講演抄録は本会電子ジャーナルにて公開する。

第98回学術集会 会長 北野雅之

令和7年5月30日(金)～6月1日(日) 於:国立京都国際会館(京都府京都市)

令和7年度以降の予定

第99回学術集会 会長 古川まどか

令和8年5月29日(金)～31日(日) 於:東京国際フォーラム(東京都千代田区)

第100回学術集会 会長 尾本きよか

令和9年5月28日(金)～30日(日) 於:大宮ソニックシティ(埼玉県さいたま市)

[公益目的事業 学術集会・講習会等事業]

III 地方会学術集会

下記の予定で地方会を開催する。

a. 北海道地方会学術集会

第55回 会長 佐々木 東

令和7年9月13日(土) 於:北海道大学学術交流会館(北海道札幌市)

b. 東北地方会学術集会

第70回 会長 佐藤和奏

令和7年9月7日(日) 於:にぎわい交流館AU(秋田県秋田市)

第71回 会長 吉澤 晋

令和8年3月1日(日) 於:東北大学復興記念教育研究未来館(宮城県仙台市)

c. 関東甲信越地方会学術集会

第37回 会長 尾本きよか

令和7年9月27日(土)～28日(日) 於:大宮ソニックシティ(埼玉県さいたま市)

d. 中部地方会学術集会

第46回 会長 土肥 薫

令和7年8月24日(日) 於:ウインクあいち(愛知県名古屋市)

e. 関西地方会学術集会

第52回 会長 阿部幸雄

令和7年12月12日(土) 於:大阪国際会議場(大阪府大阪市)

f. 中国地方会学術集会

第61回 会長 神野大輔

令和7年9月6日(土) 於:広島県医師会館(広島県広島市)

g. 四国地方会学術集会

第35回 会長 尾原義和

令和7年10月18日(土) 於:高知医療センター内くろしおホール(高知県高知市)

h. 九州地方会学術集会

第35回 会長 高橋宏和

令和7年10月5日(日) 於:佐賀市文化会館(佐賀県佐賀市)

IV 教育セッション・超音波診断講習会・小規模講習会(腹部ハンズオンセミナー)・必修講習会

a. 教育セッション

第24回教育セッション 令和7年5月30日(金)～31日(土) 於:国立京都国際会議場(京都府京都市)

b. 超音波診断講習会

超音波診断講習会(循環器) 令和7年11月29日(土) 於:アルピコプラザホテル(長野県松本市)

超音波診断講習会(消化器) 令和8年1月31日(土) 於:パシフィコ横浜ノース(神奈川県横浜市)

超音波診断講習会(乳腺) 令和8年2月15日(日) 於:コンGRESSスクエアグリーン大阪(大阪府大阪市)

超音波診断講習会(領域横断) 令和7年11月15日(土) 於:中日ホール&カンファレンス(愛知県名古屋市)

c. 小規模講習会(腹部ハンズオンセミナー)

状況を見極めて計画を立てる。

d. 必修講習会

第98回学術集会 令和7年6月1日(日) 於:国立京都国際会議場(京都府京都市)

V 各種委員会等

[会員相互補助事業]

1 在り方検討委員会

a. 会員資格担当理事と連携して、今後の短期、長中期で会員増の方策を検討し、委員会独自の提言を行う。

b. 本会正会員入会資格要件について検討を行う。

[公益目的事業 調査研究事業]

2 機器及び標準化に関する委員会

a. 「SWE(shear wave elastography)の標準化小委員会」において、SWEの標準化に関する検討を行う。

b. 超音波診断機器の規格に関する最新動向を把握するため、国際電気標準会議(IEC)に委員1名を派遣する。

c. 安全委員会及び教育委員会と共同でワーキンググループにて、超音波医学に関する医学部教育用及び一般市民向けのコンテンツを策定する。

d. 穿刺時の超音波プローブの消毒について「体表・消化器・泌尿器・産婦人科」の4領域について検討を行う。

e. 新しい機器に関する啓発活動を行う。

f. 会員からの機器に関する問い合わせに対応する。

[公益目的事業 調査研究事業]

3 安全委員会

- a. 「超音波の安全性」についての調査、啓発活動を行う。
- b. 「音響放射力の生体への影響検討小委員会」において、音響放射カインパルスの生体への影響について検討を行う。
- c. 機器及び標準化に関する委員会及び教育委員会と共同でワーキンググループにて、超音波医学に関する医学部教育用及び一般市民向けのコンテンツを策定する。

〔公益目的事業 学会誌等出版事業〕

4 編集委員会

- a. 和文誌「超音波医学」(7冊)：第52巻 Supplement号、3～6号及び第53巻1・2号並びに英文誌「Journal of Medical Ultrasonics」(4冊)：第52巻2～4号及び第53巻1号の計11冊を発行する。
- b. メールマガジンを配信する。
- c. 総説及び特集などの執筆を依頼する。
- d. Impact Factor値の上昇について方策を検討する。

〔公益目的事業 調査研究事業〕

5 用語・診断基準委員会

- a. 医用超音波用語関係
 - 1) 医用超音波用語集改訂を随時行い、ウェブサイト に反映する。
 - 2) 他学会との交流、及び連携を図り、用語の整合性について検討を行う。
- b. 診断基準関係
 - 1) 「結節甲状腺腫診断基準」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。
 - 2) 「消化管診断基準」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。
 - 3) 「胆嚢癌超音波診断基準」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。
 - 4) 「乳房造影超音波診断基準」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。
 - 5) 「超音波による四肢動脈病変の標準的評価法」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。
 - 6) 「超音波によるバスキュラーアクセスの標準的評価法」公示に向けて検討を行う。
 - 7) 「胎児発育不全の診断ガイドライン」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。
 - 8) 「血管超音波の標準的検査法：総論」公示に向けて検討を行う。
 - 9) 「肝腫瘍の超音波診断基準」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。
 - 10) 「超音波による腎血管病変の標準的評価法」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。
 - 11) 「成人心臓弁膜症の心エコー図診断」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。
 - 12) 「新生児・乳児の股関節脱臼診断基準」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。
 - 13) 「エラストグラフィ(肝臓)ガイドライン」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。
 - 14) 「脂肪肝(超音波減衰法)ガイドライン」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。
 - 15) 「胎児心不全」の定義」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。

〔法人事業／法人管理関係〕

6 保険委員会

- a. 次回療養報酬改定に向け要望項目について、会員にアンケート調査を行い、次回診療報酬改定に向けての準備を行う。
- b. 引き続き、内保連・外保連に委員を派遣し、関連他学会との情報交換を行う。
- c. 例年のように超音波専門医研修施設宛に各種超音波検査の年間検査件数、及び検査に携わる医師や技師の実態把握のためのアンケート調査を行う。

〔公益目的事業 国際交流事業〕

7 国際交流委員会

- a. 公益社団法人日本超音波医学会奨学制度(JSUM Fellowship)関係
 - 「公益社団法人日本超音波医学会奨学制度実施要領」に準拠して、下記の活動を行う。
 - 1) 2025年度JSUM Fellowship研修生の研修を実施する。
 - 2) 2026年度JSUM Fellowship研修生を公募し、選考する。
 - 3) 今後の国際貢献の在り方について検討する。
- b. アジア超音波医学学術連合(AFSUMB)・世界超音波医学学術連合大会(WFUMB)関係
 - 1) 令和7年5月8日～9日に韓国ソウル市において開催される第56回KSUM大会に学術、広報などの面で協力する。
 - 2) 令和7年5月29日～6月1日に日本・京都において開催される第20回WFUMB大会を共催する。
 - 3) 英文誌(Journal of Medical Ultrasonics)並びにAFSUMB、及び本会のウェブサイトにおいてJSUM Fellowshipの募集広告を行う。
 - 4) AFSUMB、及びWFUMBのEducation Programに協力する。
 - 5) 本会の国際化を一層推進するため、新たな交流事業について検討する。
- c. 超音波医学に関して国際的に活躍されている方で本会名誉会員にふさわしい方を検討し、理事会へ推薦する。

〔公益目的事業 学術集会・講習会等事業〕

8 教育委員会

- a. 第98回学術集会会期中に国立京都国際会館を会場として、第24回教育セッションを開催する。
- b. 第99回学術集会会期中に開催予定の「第25回教育セッション」を企画し、開催に向けての準備を行う。
- c. 2025年度に超音波診断講習会(循環器・消化器・乳腺・領域横断)4領域を開催する。
- d. 2026年度に開催する超音波診断講習会を企画し、開催に向けての準備を行う。
- e. 2025年度中の小規模講習会(腹部ハンズオンセミナー)は、状況を見極めて計画を立てる。
- f. 第98回学術集会会期中に国立京都国際会館を会場として、「必修講習会」を開催する。
- g. 機器及び標準化に関する委員会、及び教育委員会と共同でワーキンググループにて、超音波医学に関する医学部教育用及び一般市民向けのコンテンツを策定する。

〔収益事業 資格認定事業〕

9 超音波専門医制度委員会

- a. 第35回超音波専門医認定試験を実施する。
- b. 第36回超音波専門医認定試験のための試験委員会を組織する。
- c. 令和7年度超音波指導医の認定審査を実施する。
- d. 第31回超音波専門医資格更新審査を実施する。
- e. 令和7年度指定の研修施設・基幹施設・連携施設に、令和7年4月1日付けで指定証を交付する。
- f. 令和8年度研修施設・基幹施設・連携施設の指定に向けて審査を実施する。
- g. 専門医認定試験申込システム及び資格更新支払いシステムを構築する。
- h. 超音波専門医制度に関する啓発を、会員に積極的に行う。
- i. 超音波専門医制度に関する他学会との連携を深める。
- j. 一般社団法人日本専門医機構の事業に主体的に関わって、専門医制度の資質向上に資する。
- k. 基本領域サブスペシャルティ連絡協議会が認定するサブスペシャルティ専門医の取得を目指し、必要な方策を実施する。

〔公益目的事業 表彰事業〕

10 顕彰委員会

- a. 第27回特別学会賞の選考を行う。
- b. 第4回工藤賞の選考を行う。
- c. 第25回技術賞の選考を行う。
- d. 第39回菊池賞(論文賞)の選考を行う。
- e. 第20回伊東賞(論文賞)の選考を行う。
- f. 第26回奨励賞の選考を行う。
- g. 第14回新人賞(地方会)の選考を行う。

〔収益事業 資格認定事業〕

11 超音波検査士制度委員会

- a. 第40回超音波検査士認定試験を実施する。
- b. 第36回超音波検査士資格更新を実施する。
- c. 第13回超音波指導検査士(腹部領域及び血管領域及び体表臓器領域)認定試験を実施する。
- d. 第9回超音波指導検査士(腹部領域)資格更新を実施する。
- e. 超音波検査士の更なる育成を図り、非会員の検査士との連絡方法などの利便性を検討する。
- f. 「超音波指導検査士(腹部領域及び血管領域及び体表臓器領域)認定試験のための講習会」を実施する。

〔収益事業 資格認定事業〕

12 超音波工学フェロー認定審査委員会

- a. 第27回超音波工学フェローの認定審査を実施する。
- b. 第22回超音波工学フェロー資格更新審査を実施する。
- c. 超音波工学フェロー制度の活性化のために構築した工学フェロー検索システムの広報を行い、浸透を図る。
- d. 超音波工学フェロー制度の活性化の議論を行い、必要な方策を実施する。

〔公益目的事業 研究開発促進事業〕

13 研究開発促進委員会

- a. 令和7年度研究会の設置申請についての審査を行い、研究会の設置を認可する。
- b. 令和8年度研究会の設置申請の公募を行い、応募書類を審査する。

〔法人事業／法人管理関係〕

14 倫理委員会

- a. 倫理に関する事項について検討を行う。

〔公益目的事業 学術集会・講習会等事業〕

15 学術集会委員会

- a. 学術集会の在り方を考えて、その運営が円滑に行われるように助言する。

〔公益目的事業 学会誌等出版事業〕

16 広報委員会

- a. 本学会情報をウェブサイト、SNS及びメールマガジンにより広報を行う。
- b. ワーキンググループを設置しウェブサイトのリニューアル及びSNSでの広報の作業を行う。
- c. リニューアルしたウェブサイトのコンテンツ制作を行う。

〔公益目的事業 学術集会・講習会等事業〕

17 地方会委員会

- a. 地方会に関する事業の発展、充実、及び円滑な運営の促進
 - 1) 各地方会の事業が円滑に運営されるよう指導、及び助言を行う。
 - 2) 地方交付金の算定を行い、交付する。
 - 3) 地方会学術集会に関して助言を行う。
 - 4) 地方会講習会に関して助言を行う。
 - 5) 学術集会委員会・在り方検討委員会と共同して正会員増加に関する検討を行う。
- b. 地方会委員会会議、及び地方会運営委員長会議を開催し、各地方会相互の連絡を緊密に行う。
- c. 地方会を通じて正会員数増加の推進を行う。
- d. 各地方会学術集会演題受付ウェブシステムを利用し、抄録のウェブ掲載を行う。

〔法人事業／法人管理関係〕

18 利益相反委員会

- a. 学会員の利益相反に関するマネジメントを行う。
- b. 利益相反に関する指針について必要に応じて改訂の検討を行う。

〔会員相互補助事業〕

19 災害対策委員会

- a. 災害発生に備え、被災地から超音波診断装置等借用要請があった場合に、各超音波機器メーカーや現地医療機関・医療関係者、各都道府県の超音波医学会地方会事務局窓口(防災担当)と連携を図る。
- b. 災害が発生した場合には、被災地域医療活動支援のための、装置の手配・搬送・回収など一連の貸与関連業務に当たる。
- c. 「災害時の対応マニュアル」の第三版改訂に向け検討を行う。

〔会員相互補助事業〕

20 キャリア支援・ダイバーシティ推進委員会

- a. 委員会内の「Early Career部会」に基礎・産婦人科領域を追加する。
- b. Early Career部会による第98回学術集会会期中のキャリア支援・ダイバーシティのシンポジウムを企画・開催する。
- c. アンダー40、及び女性会員の年次学術集会及び各地方会での座長割合を増加させる活動を行う。

〔公益目的事業 調査研究事業〕

21 超音波画像のデータベース構築・利活用推進委員会

- a. 臨床研究等のICT基盤構築に関する調査研究事業として、次世代に向けた超音波画像データを収集し、データベースを構築する。データベースを学習用データ、テスト用データとして用い、超音波診断を支援する人工知能の開発研究に取り組む。
- b. 開発した超音波診断を支援する人工知能の性能を評価する臨床試験を行う。

〔法人事業／法人管理関係〕

- 22 会員資格審査関係
会員の取扱規則に従い、会員資格に関する下記の認定の審査を行う。
a. 入会希望者、及び退会希望者の審査
b. 会員資格喪失該当者の審査
c. 会員種別変更希望者の審査
d. 休会希望者の審査
e. 災害被災者の会費免除の審査
f. 会員数の動向調査(正会員の入会金と会費免除後の入会者推移)
g. 入会条件の検討

[法人事業／法人管理関係]

- 23 規約関係
a. 理事長の諮問を受けて、学会運営に関する諸規約の制定、及び改正について逐次審議し、作案する。

[法人事業／法人管理関係]

- 24 個人情報保護関係
a. 本会が保有する個人情報提を適切に管理する。

[会員相互補助事業]

- VI 日本医学会関係
1 日本医学会定時総会に出席する。
2 第32回日本医学会総会に協力する。
3 令和7年度日本医学会分科会用語委員会に出席する。
4 日本医学会研究倫理教育研修会に出席する。

(資料5)

令和7年度 収支予算書
令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	45,000	720	44,280	
入会金収入	1,100,000	1,300,000	△ 200,000	正会員新入会特別措置あり
会費収入	170,482,500	165,435,500	5,047,000	
正会員会費	(79,300,000)	(78,650,000)	(650,000)	@13,000円×6,100人
シニア会員会費	(17,050,000)	(15,400,000)	(1,650,000)	@11,000円×1,550人
準会員会費	(72,600,000)	(69,700,000)	(2,900,000)	@10,000×1,310・@7,000×8,500
学生会員会費	(52,500)	(45,500)	(7,000)	@3,500円×15人
賛助会員会費	(1,480,000)	(1,640,000)	(△ 160,000)	@40,000円×37口(9社)
学術集会関係	195,128,000	123,481,000	71,647,000	98回およびWFUMB2025:京都
参加費収入	(127,300,000)	(67,140,000)	(60,160,000)	
共催セミナー収入ほか	(59,180,000)	(53,834,000)	(5,346,000)	
広告収入	(2,134,000)	(1,507,000)	(627,000)	
寄付金収入	(1,200,000)	(1,000,000)	(200,000)	
補助金・助成金収入	(5,314,000)	(0)	(5,314,000)	
地方会・地方会学術集会関係	59,468,000	46,502,500	12,965,500	
参加費収入	(19,613,000)	(17,719,000)	(1,894,000)	
共催セミナー収入ほか	(29,228,000)	(19,488,000)	(9,740,000)	
広告収入	(7,057,000)	(6,765,500)	(291,500)	
資料頒布収入	(20,000)	(20,000)	(0)	
寄付金収入	(2,050,000)	(2,510,000)	(△ 460,000)	
補助金・助成金収入	(1,500,000)	(0)	(1,500,000)	
編集委員会	1,829,900	1,824,900	5,000	
学会誌別刷収入	(45,000)	(45,000)	(0)	和文誌6回
広告収入	(160,000)	(160,000)	(0)	
著作権・印税収入	(1,400,000)	(1,400,000)	(0)	著作権使用料
資料頒布収入	(224,900)	(219,900)	(5,000)	オンデマンド印刷等頒布ほか
教育委員会	55,000	55,000	0	
資料頒布収入	(55,000)	(55,000)	(0)	クリアフォルダ
教育セッション関係	4,800,000	3,600,000	1,200,000	
参加費収入	(4,800,000)	(3,600,000)	(1,200,000)	
講習会関係	10,000,000	11,600,000	△ 1,600,000	
参加費収入	(10,000,000)	(11,600,000)	(△ 1,600,000)	4回開催
必修講習会関係	18,427,600	19,585,280	△ 1,157,680	
参加費収入	(5,775,000)	(3,273,600)	(2,501,400)	
資料頒布収入	(12,652,600)	(16,311,680)	(△ 3,659,080)	e-learning
専門医制度委員会	11,512,100	12,912,000	△ 1,399,900	
試験・新規認定収入	(5,165,500)	(4,844,000)	(321,500)	試験受験料・認定料
更新認定収入	(3,535,000)	(5,340,000)	(△ 1,805,000)	
資料頒布収入	(2,811,600)	(2,728,000)	(83,600)	専門医認定試験問題集
工学フェロー認定審査委員会	145,000	42,500	102,500	
新規認定収入	(20,000)	(15,000)	(5,000)	
更新認定収入	(125,000)	(27,500)	(97,500)	
検査士制度委員会	70,769,000	66,455,000	4,314,000	
試験・新規認定収入	(44,470,000)	(45,244,000)	(△ 774,000)	試験受験料・認定料
更新認定収入	(25,819,000)	(20,725,000)	(5,094,000)	↳(指導検査士含む)
著作権・印税収入	(480,000)	(486,000)	(△ 6,000)	検査士認定試験問題集印税
特定資産運用収入	229,121	4,163	224,958	
受取利息	83,000	2,362	80,638	基金分は除く
雑収入	4,000	4,000	0	在外会員手数料
事業活動収入計 (A)	544,078,221	452,804,925	91,273,296	
2. 事業活動支出				
事業費				
学術集会関係	228,630,983	115,400,038	113,230,945	98回およびWFUMB2025:京都
臨時雇い賃金	(12,625,661)	(0)	(12,625,661)	
会計顧問料	(1,100,000)	(440,000)	(660,000)	
文具消耗品費	(566,500)	(0)	(566,500)	
会場・会議費	(88,772,615)	(39,155,898)	(49,616,717)	市民公開講座分を除く
印刷費	(13,510,255)	(10,795,795)	(2,714,460)	市民公開講座分を除く
通信・運搬費	(556,420)	(106,400)	(450,020)	
旅費交通費	(16,579,420)	(115,500)	(16,463,920)	
支払手数料	(3,819,000)	(0)	(3,819,000)	
システム運営費	(15,077,700)	(25,585,092)	(△ 10,507,392)	
業務委託費	(40,480,080)	(27,539,768)	(12,940,312)	市民公開講座分を除く
各種賞金	(1,100,000)	(0)	(1,100,000)	
関連行事費	(16,638,050)	(9,002,675)	(7,635,375)	
諸謝金	(4,590,000)	(0)	(4,590,000)	
雑費	(13,215,282)	(2,658,910)	(10,556,372)	WFUMBライセンス料を含む

科 目	予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	備 考
学術集会(本部)・委員会	6,283,579	5,907,283	376,296	
臨時雇い賃金	(0)	(100,000)	(△ 100,000)	
会場・会議費	(52,400)	(52,400)	(0)	
会場・会議費	(1,206,920)	(2,000,000)	(△ 793,080)	市民公開講座 ※特定費用準備資金
印刷費	(441,540)	(1,000,000)	(△ 558,460)	市民公開講座 ※特定費用準備資金
通信・運搬費	(83,000)	(23,000)	(60,000)	
通信・運搬費	(11,000)	(0)	(11,000)	市民公開講座 ※特定費用準備資金
旅費交通費	(714,300)	(531,883)	(182,417)	
システム運営費	(200,000)	(200,000)	(0)	
システム運営費	(55,000)	(0)	(55,000)	市民公開講座 ※特定費用準備資金
業務委託費	(3,519,419)	(2,000,000)	(1,519,419)	市民公開講座 ※特定費用準備資金
地方会・地方会学術集会関係	74,743,400	61,826,800	12,916,600	
臨時雇い賃金	(4,710,000)	(6,894,600)	(△ 2,184,600)	
文具消耗品費	(1,802,200)	(1,578,400)	(223,800)	
会場・会議費	(15,209,390)	(19,265,000)	(△ 4,055,610)	
印刷費	(7,301,000)	(8,438,400)	(△ 1,137,400)	
通信・運搬費	(1,224,150)	(1,579,000)	(△ 354,850)	
旅費交通費	(2,005,000)	(1,536,000)	(469,000)	
支払手数料	(488,200)	(310,400)	(177,800)	
システム運営費	(980,000)	(805,000)	(175,000)	
業務委託費	(37,333,460)	(18,610,000)	(18,723,460)	
各種賞金	(1,050,000)	(760,000)	(290,000)	
関連行事費	(100,000)	(0)	(100,000)	
諸謝金	(2,540,000)	(2,050,000)	(490,000)	
地方会(本部)・委員会	3,494,180	2,456,640	1,037,540	
会場・会議費	(69,680)	(82,640)	(△ 12,960)	
通信・運搬費	(10,000)	(10,000)	(0)	
システム運営費	(3,414,500)	(2,364,000)	(1,050,500)	
編集委員会	48,031,600	48,612,800	△ 581,200	
学会誌出版費	(35,175,800)	(35,835,800)	(△ 660,000)	OpenAccess費用を含む
発送経費	(5,953,800)	(5,155,000)	(798,800)	
校正費	(6,020,000)	(6,740,000)	(△ 720,000)	
諸謝金	(500,000)	(500,000)	(0)	
システム運営費	(382,000)	(382,000)	(0)	
研究開発促進委員会	185,692	187,420	△ 1,728	研究開発促進委員会
文具消耗品費	(1,500)	(1,500)	(0)	
会場・会議費	(24,192)	(25,920)	(△ 1,728)	
通信・運搬費	(10,000)	(10,000)	(0)	
旅費交通費	(150,000)	(150,000)	(0)	
研究会関係	1,050,000	1,050,000	0	研究会設置費(3研究会)
文具消耗品費	(150,000)	(200,000)	(△ 50,000)	
会場・会議費	(560,000)	(530,000)	(30,000)	
印刷費	(50,000)	(130,000)	(△ 80,000)	
通信・運搬費	(40,000)	(40,000)	(0)	
旅費交通費	(200,000)	(100,000)	(100,000)	
諸謝金	(50,000)	(50,000)	(0)	
顕彰委員会	6,220,720	6,167,242	53,478	
各種賞金	(5,200,000)	(5,200,000)	(0)	
会場・会議費	(203,200)	(210,112)	(△ 6,912)	
印刷費	(111,320)	(50,930)	(60,390)	
通信・運搬費	(30,000)	(30,000)	(0)	
旅費交通費	(676,200)	(676,200)	(0)	
用語・診断基準委員会	2,122,260	1,265,630	856,630	
校正費	(300,000)	(300,000)	(0)	
会費・分担金	(310,000)	(310,000)	(0)	日本乳がん検診精度管理中央機構
会場・会議費	(400,360)	(208,080)	(192,280)	
通信・運搬費	(3,000)	(3,000)	(0)	
旅費交通費	(195,900)	(244,550)	(△ 48,650)	
システム運営費	(913,000)	(200,000)	(713,000)	
機器及び標準化に関する委員会	11,606,426	11,735,020	△ 128,594	
文具消耗品費	(50,000)	(0)	(50,000)	
会場・会議費	(93,696)	(164,000)	(△ 70,304)	
会場・会議費	(0)	(20,000)	(△ 20,000)	※特定費用準備資金
印刷費	(10,000,000)	(0)	(10,000,000)	
印刷費	(0)	(10,000,000)	(△ 10,000,000)	※特定費用準備資金
旅費交通費	(1,462,730)	(975,620)	(487,110)	
旅費交通費	(0)	(575,400)	(△ 575,400)	※特定費用準備資金
安全委員会	516,241	609,045	△ 92,804	
会費・分担金	(200,000)	(200,000)	(0)	日本医療安全調査機構
会場・会議費	(50,456)	(62,120)	(△ 11,664)	
通信・運搬費	(0)	(1,000)	(△ 1,000)	
旅費交通費	(265,785)	(345,925)	(△ 80,140)	
教育委員会	1,054,320	1,027,980	26,340	教育委員会
会場・会議費	(80,480)	(71,840)	(8,640)	
通信・運搬費	(3,000)	(3,000)	(0)	
旅費交通費	(970,840)	(953,140)	(17,700)	

科 目	予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	備 考
教育セッション関係	4,404,745	1,617,987	2,786,758	
システム運営費	(1,122,880)	(0)	(1,122,880)	
業務委託費	(1,827,056)	(330,000)	(1,497,056)	
諸謝金	(784,809)	(567,987)	(216,822)	講師旅費を含む
印刷費	(650,000)	(550,000)	(100,000)	教育セッションテキスト含む
通信・運搬費	(20,000)	(20,000)	(0)	
旅費交通費	(0)	(150,000)	(△ 150,000)	
講習会関係	13,644,040	13,452,840	191,200	4回開催
システム運営費	(1,078,000)	(990,000)	(88,000)	
業務委託費	(2,000,000)	(2,000,000)	(0)	
諸謝金	(3,336,440)	(1,336,440)	(2,000,000)	講師旅費を含む
会場・会議費	(5,529,600)	(5,486,400)	(43,200)	
印刷費	(800,000)	(600,000)	(200,000)	講習会テキスト含む
通信・運搬費	(100,000)	(100,000)	(0)	
旅費交通費	(800,000)	(2,940,000)	(△ 2,140,000)	
必修講習会	5,032,200	3,721,374	1,310,826	
頒布資料印刷費	(0)	(341,000)	(△ 341,000)	e-learningシステムを含む
業務委託費	(3,340,000)	(999,800)	(2,340,200)	
諸謝金	(182,000)	(169,174)	(12,826)	講師旅費を含む
会場・会議費	(0)	(1,280,000)	(△ 1,280,000)	
印刷費	(876,000)	(225,500)	(650,500)	e-learningシステム、テキスト含む
支払手数料	(634,200)	(705,900)	(△ 71,700)	
専門医制度委員会	9,259,411	6,109,436	3,149,975	
システム運営費	(3,586,000)	(110,000)	(3,476,000)	
業務委託費	(175,000)	(173,250)	(1,750)	専門医認定試験採点
諸謝金	(897,000)	(840,000)	(57,000)	
臨時雇い賃金	(718,080)	(718,000)	(80)	
会場・会議費	(1,236,400)	(1,532,300)	(△ 295,900)	
印刷費	(711,150)	(728,200)	(△ 17,050)	試験問題作成ほか
通信・運搬費	(631,760)	(643,786)	(△ 12,026)	
旅費交通費	(1,304,021)	(1,353,900)	(△ 49,879)	
雑費	(0)	(10,000)	(△ 10,000)	
工学フェロー認定審査委員会	77,390	51,544	25,846	
会場・会議費	(4,400)	(4,400)	(0)	
印刷費	(31,350)	(0)	(31,350)	
通信・運搬費	(24,540)	(15,844)	(8,696)	
旅費交通費	(17,100)	(31,300)	(△ 14,200)	
検査士制度委員会	25,307,636	24,946,800	360,836	
システム運営費	(450,000)	(1,000,000)	(△ 550,000)	
業務委託費	(1,120,000)	(1,845,000)	(△ 725,000)	
諸謝金	(2,652,500)	(2,557,500)	(95,000)	
臨時雇い賃金	(2,030,560)	(1,990,500)	(40,060)	
文具消耗品費	(70,000)	(200,000)	(△ 130,000)	
会場・会議費	(8,187,848)	(7,958,700)	(229,148)	
印刷費	(3,184,700)	(3,213,500)	(△ 28,800)	
通信・運搬費	(4,024,928)	(2,993,500)	(1,031,428)	
旅費交通費	(1,957,780)	(1,493,500)	(464,280)	
支払手数料	(1,579,320)	(1,651,600)	(△ 72,280)	
雑費	(50,000)	(43,000)	(7,000)	
国際交流委員会	5,171,634	9,965,948	△ 4,794,314	
奨学金	(1,200,000)	(6,200,000)	(△ 5,000,000)	1名
会費・分担金	(3,737,002)	(3,282,828)	(454,174)	AFSUMB分担金
諸謝金	(60,000)	(310,000)	(△ 250,000)	
会場・会議費	(16,632)	(15,120)	(1,512)	
通信・運搬費	(10,000)	(10,000)	(0)	
旅費交通費	(148,000)	(148,000)	(0)	
広報委員会	11,395,500	21,719,800	△ 10,324,300	
システム運営費	(651,500)	(2,839,400)	(△ 2,187,900)	
システム運営費	(5,805,000)	(7,726,400)	(△ 1,921,400)	Webリニューアル ※特定費用準備資金
業務委託費	(4,939,000)	(11,154,000)	(△ 6,215,000)	※特定費用準備資金
在り方検討委員会	69,724	74,252	△ 4,528	企画委員会より名称変更
会場・会議費	(7,344)	(0)	(7,344)	
通信・運搬費	(3,000)	(6,000)	(△ 3,000)	
旅費交通費	(59,380)	(68,252)	(△ 8,872)	
キャリア支援・ダイバーシティ推進委員会	225,580	121,120	104,460	
業務委託費	(45,980)	(0)	(45,980)	
会場・会議費	(95,080)	(82,120)	(12,960)	
印刷費	(100,000)	(30,000)	(70,000)	
通信・運搬費	(30,500)	(9,000)	(21,500)	
災害対策委員会	44,060	35,960	8,100	
会場・会議費	(41,060)	(32,960)	(8,100)	
通信・運搬費	(3,000)	(3,000)	(0)	

科 目	予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	備 考
超音波画像のデータベース構築・利活用推進委員会	29,117,450	24,179,450	4,938,000	
システム運営費	(10,636,000)	(4,598,000)	(6,038,000)	※特定費用準備資金
文具消耗品費	(50,000)	(50,000)	(0)	※特定費用準備資金
会場・会議費	(120,000)	(120,000)	(0)	※特定費用準備資金
旅費交通費	(1,050,000)	(1,050,000)	(0)	※特定費用準備資金
業務委託費	(16,033,450)	(17,133,450)	(△ 1,100,000)	※特定費用準備資金
諸謝金	(1,228,000)	(1,228,000)	(0)	※特定費用準備資金
事業費計	487,688,771	362,242,409	125,446,362	
管理費				
給与手当	60,000,000	53,441,000	6,559,000	
会計顧問料	880,000	880,000	0	
福利厚生費	570,000	515,000	55,000	
法定福利費	10,500,000	9,500,000	1,000,000	
職員交通費	1,672,500	1,472,500	200,000	
事務所賃借料	20,770,600	20,065,700	704,900	
事務用機器賃借料	820,000	923,200	△ 103,200	
備品費	500,000	200,000	300,000	
文具消耗品費	380,000	330,000	50,000	
光熱水料	1,400,000	1,400,000	0	
事務OA化費	3,000,000	2,000,000	1,000,000	
会場・会議費	350,000	450,000	△ 100,000	
印刷費	1,100,000	1,100,000	0	
通信・運搬費	3,450,000	3,450,000	0	
旅費交通費	1,300,000	800,000	500,000	理事会等
各種保険料	308,000	250,000	58,000	役員賠償責任保険・火災保険ほか
租税公課	7,100,000	7,100,000	0	
支払手数料	3,500,000	3,200,000	300,000	
システム運営費	3,400,000	280,000	3,120,000	
会費・分担金	450,000	440,000	10,000	日本医学会、公益法人協会ほか
業務委託費	897,600	897,600	0	
雑費	500,000	500,000	0	
保険委員会	652,540	625,000	27,540	
会費・分担金	(600,000)	(600,000)	(0)	内保連、外保連
会場・会議費	(20,000)	(20,000)	(0)	
通信・運搬費	(5,000)	(5,000)	(0)	
旅費交通費	(27,540)	(0)	(27,540)	
規約関係	0	5,000	△ 5,000	
通信・運搬費	(0)	(5,000)	(△ 5,000)	
選挙関係	0	548,840	△ 548,840	
通信・運搬費	(0)	(3,000)	(△ 3,000)	
旅費交通費	(0)	(193,840)	(△ 193,840)	
システム運営費	(0)	(352,000)	(△ 352,000)	
管理費計	123,501,240	110,373,840	13,127,400	
事業活動支出計 (B)	611,190,011	472,616,249	138,573,762	
事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)	△ 67,111,790	△ 19,811,324	△ 47,300,466	
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定預金取崩収入	67,400,000	49,400,000	18,000,000	
伊東賞基金取崩収入	(600,000)	(600,000)	(0)	
工藤賞基金取崩収入	(300,000)	(300,000)	(0)	※指定正味財産
超音波医学啓発準備資金取崩収入	(10,000,000)	(10,000,000)	(0)	※特定費用準備資金
教育関連準備資金取崩収入	(0)	(10,000,000)	(△ 10,000,000)	※特定費用準備資金
データベース整備資金取崩収入	(12,000,000)	(24,000,000)	(△ 12,000,000)	※特定費用準備資金
学術集会準備資金取崩収入	(44,500,000)	(4,500,000)	(40,000,000)	※特定費用準備資金
投資活動収入計 (D)	67,400,000	49,400,000	18,000,000	
2. 投資活動支出				
特定預金繰入支出	6,000,000	35,500,000	△ 29,500,000	
退職給付引当預金支出	(6,000,000)	(3,500,000)	(2,500,000)	
超音波医学啓発準備資金組入支出	(0)	(10,000,000)	(△ 10,000,000)	※特定費用準備資金
データベース整備資金組入支出	(0)	(9,000,000)	(△ 9,000,000)	※特定費用準備資金
学術集会準備資金組入支出	(0)	(13,000,000)	(△ 13,000,000)	※特定費用準備資金
什器備品取得支出	0	0	0	
投資活動支出計 (E)	6,000,000	35,500,000	△ 29,500,000	
投資活動収支差額 (F)=(D)-(E)	61,400,000	13,900,000	47,500,000	

科 目	予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	備 考
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入			0	
財務活動収入計 (G)	0	0	0	
2. 財務活動支出			0	
財務活動支出計 (H)	0	0	0	
財務活動収支差額 (J)=(G)-(H)	0	0	0	
当期収支差額 (K)=(G)+(F)+(J)	△ 5,711,790	△ 5,911,324	199,534	
前期繰越収支差額 (L)	214,367,134	173,489,904	40,877,230	
次期繰越収支差額 (K)+(L)	208,655,344	167,578,580	41,076,764	

公益社団法人収支予算内訳書(損益計算ベース)

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計		収益事業等会計 小計	法人会計	内部取引消去	合計
	公1	資格認定事業	会員相互補助事業				
I 一般正味財産増減の部							
1.経常増減の部							
(1)経常収益							
基本財産運用収入	0	0	0	0	45,000	0	45,000
特定資産運用収入	229,121	0	0	0	0	0	229,121
入金金収入	550,000	0	0	0	550,000	0	1,100,000
会費収入	85,241,250	0	0	0	85,241,250	0	170,482,500
参加費収入	167,488,000	0	0	0	0	0	167,488,000
共催セミナー収入ほか	88,408,000	0	0	0	0	0	88,408,000
広告収入	9,351,000	0	0	0	0	0	9,351,000
試験・新規認定収入	0	49,655,500	0	49,655,500	0	0	49,655,500
更新認定収入	0	29,479,000	0	29,479,000	0	0	29,479,000
学会誌別刷収入	45,000	0	0	0	0	0	45,000
資料頒布収入	15,764,100	0	0	0	0	0	15,764,100
著作権・印税収入	1,880,000	0	0	0	0	0	1,880,000
寄付金収入	3,250,000	0	0	0	0	0	3,250,000
・指定正味財産からの振替	300,000	0	0	0	0	0	300,000
補助金・助成金収入	6,814,000	0	0	0	0	0	6,814,000
受取利息収入	0	0	0	0	83,000	0	83,000
雑収入	0	0	0	0	4,000	0	4,000
経常収益計	379,320,471	79,134,500	0	79,134,500	85,923,250	0	544,378,221
(2)経常費用							
事業費							
学会誌出版費	35,175,800	0	0	0			35,175,800
発送経費	5,953,800	0	0	0			5,953,800
校正費	6,320,000	0	0	0			6,320,000
表彰関係費	7,350,000	0	0	0			7,350,000
奨学金	1,200,000	0	0	0			1,200,000
給与手当	26,841,450	9,131,627	1,660,296	10,791,923			37,633,373
臨時雇い賃金	17,335,661	2,748,640	0	2,748,640			20,084,301
会計顧問料	1,100,000	0	0	0			1,100,000
法定福利費	5,092,500	1,732,500	315,000	2,047,500			7,140,000
職員交通費	811,169	275,964	50,176	326,140			1,137,309
事務所賃借料	10,073,741	3,427,149	623,118	4,050,267			14,124,008
文具消耗品費	2,620,200	70,000	0	70,000			2,690,200
光熱水料	679,000	231,000	42,000	273,000			952,000
会場・会議費	112,389,621	9,428,648	143,484	9,572,132			121,961,753
印刷費	33,740,115	3,927,200	100,000	4,027,200			37,767,315
通信・運搬費	3,773,820	5,250,478	140,000	5,390,478			9,164,298
旅費・交通費	25,218,175	3,278,901	59,380	3,338,281			28,556,456
支払手数料	4,941,400	1,579,320	0	1,579,320			6,520,720
システム運営費	40,315,580	4,036,000	0	4,036,000			44,351,580
租税公課	3,443,500	1,242,500	0	1,242,500			4,686,000
業務委託費	109,472,465	1,295,000	45,980	1,340,980			110,813,445
雑費	13,215,282	50,000	0	50,000			13,265,282
会費・分担金	4,247,002	0	0	0			4,247,002
関連行事費	16,738,050	0	0	0			16,738,050
諸謝金	13,271,249	3,549,500	0	3,549,500			16,820,749
賞与引当金繰入額	2,258,550	768,373	139,704	908,077			3,166,627
退職給付費用	1,763,460	599,940	109,080	709,020			2,472,480
減価償却費	386,269	1,353,808	112	1,353,920			1,740,189
事業費計	505,727,859	53,976,548	3,428,330	57,404,878	0	0	563,132,737
管理費							
給与手当	0			0	17,709,818		17,709,818
会計顧問料	0			0	880,000		880,000
福利厚生費	0			0	570,000		570,000
法定福利費	0			0	3,360,000		3,360,000
職員交通費	0			0	535,191		535,191
事務所賃借料	0			0	6,646,592		6,646,592
事務用機器賃借料	0			0	820,000		820,000
備品費	0			0	500,000		500,000
文具消耗品費	0			0	380,000		380,000
光熱水料	0			0	448,000		448,000
事務OA化費	0			0	3,000,000		3,000,000
会場・会議費	0			0	370,000		370,000
印刷費	0			0	1,100,000		1,100,000
通信・運搬費	0			0	1,109,000		1,109,000
旅費交通費	0			0	1,327,540		1,327,540
租税公課	0			0	2,414,000		2,414,000
支払手数料	0			0	3,500,000		3,500,000
システム運営費	0			0	3,400,000		3,400,000
会費・分担金	0			0	1,050,000		1,050,000
保険料	0			0	308,000		308,000
業務委託費	0			0	897,600		897,600
雑費	0			0	500,000		500,000
賞与引当金繰入額	0			0	1,490,182		1,490,182
退職給付費用	0			0	1,163,520		1,163,520
減価償却費	0			0	1,460		1,460
管理費計	0			0	53,480,903	0	53,480,903
経常費用計	505,727,859	53,976,548	3,428,330	57,404,878	53,480,903	0	616,613,640
当期経常増減額	△ 126,407,388	25,157,952	△ 3,428,330	21,729,622	32,442,347		△ 72,235,419
2.経常外増減の部	0						0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期正味財産増減額	△ 126,407,388	25,157,952	△ 3,428,330	21,729,622	32,442,347	0	△ 72,235,419
一般正味財産期首残高	244,296,120			51,328,129	193,057,908		488,682,157
一般正味財産期末残高	117,888,732			73,057,751	225,500,255		416,446,738
II 指定正味財産増減の部							
受取交付金	0	0	0	0	0	0	0
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0
受取寄附金	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産へ振替							
受取交付金	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
受取補助金等	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
受取寄附金	(300,000)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(300,000)
当期指定正味財産増減額	△ 300,000	0	0	0	0	0	△ 300,000
指定正味財産期首残高	5,100,000						5,100,000
指定正味財産期末残高	4,800,000			0	0	0	4,800,000
III 正味財産期末残高	122,688,732			73,057,751	225,500,255		421,246,738

(注) 資金調達及び設備投資の見込みについて

1. 資金調達の見込みについて

当年度における借り入れの予定 . . . なし

2. 設備投資の見込みについて

当年度における重要な設備投資（除却又は売却を含む）の予定 . . . なし

公益社団法人日本超音波医学会定款(案)

(平成25年4月1日制定)
(平成26年5月10日変更)
(平成27年5月23日変更)
(平成27年10月9日変更)
(平成28年4月1日変更)
(平成28年5月28日変更)
(令和元年5月25日変更)
(令和5年5月28日変更)
(令和7年5月31日変更)

第1章 総 則

(名 称)

第1条 この法人は、公益社団法人日本超音波医学会(英文名 The Japan Society of Ultrasonics in Medicine)(以下「本会」という。)と称する。

(事務所)

第2条 本会は、主たる事務所を東京都千代田区に置く。

第2章 目的及び事業

(目 的)

第3条 本会は、超音波医学に関する学理及び応用の研究についての発表、知識の交換、情報の提供等を行うことにより、超音波医学及びその関連領域における学術の発展を図る。また安全かつ質の高い医療を提供するための学会活動を介して、これらを社会へ普及啓発し、人類の健康増進や福祉の向上に寄与することを目的とする。

(事 業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- 一 学術集会、学術講演会等の開催
- 二 会誌及びその他刊行物の発行
- 三 調査・研究及び教育
- 四 学会認定超音波専門医・超音波工学フェロー及び学会認定超音波検査士の認定
- 五 超音波に関わる医療の普及、啓発並びに社会への還元活動
- 六 内外の関連学術団体との連絡及び協力
- 七 その他本会の目的を達成するために必要な事業

2 前項の事業は、本邦及び海外において行うものとする。

第3章 会 員

(種 類)

第5条 本会に、次の種類の会員を置く。

一 正会員

医学部医学科、歯学部歯学科、獣医学課程若しくは薬学部の学士号を取得した者、理工学系の学士号を取得した者又は博士号を取得した者であり、かつ満65歳に達した日以降最初の3月31日が経過していない者又はそれ以下の満年齢の者で、本会の目的に賛同して入会したもの

二 シニア会員

医学部医学科、歯学部歯学科、獣医学課程若しくは薬学部の学士号を取得した者、理工学系の学士号を取得した者又は博士号を取得した者であり、かつ満65歳に達した日以降最初の3月31日が経過した者又はそれ以上の満年齢の者で、本会の目的に賛同して入会したもの

三 準会員

正会員又はシニア会員に該当しない者で、臨床検査技師、診療放射線技師若しくは看護師・准看護師の資格を有するもの又は学位号を取得したもの若しくはそれと同等の資格を有するもの若しくは高等専門学校で理工学系の准学士号を取得した者で、本会の目的に賛同して入会したもの

四 学生会員

超音波医学に関する学術を専攻するために大学の学部若しくは大学院修士課程又はその他関連教育機関に在学中の学生で、本会の目的に賛同して入会したもの

五 賛助会員

本会の行う事業を賛助する団体又は個人で、本会の目的に賛同して入会したもの

六 名誉会員

超音波医学に関して顕著な功績があり、理事会の推挙に基づき社員総会の承認を得た者

七 功労会員

本会に格別な功労のあったシニア会員で、理事会の推挙に基づき社員総会の承認を得たもの

- 2 本会の社員(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(以下「法人法」という。)第11条第1項第5号等に規定する社員をいう。以下同じ)は概ね正会員30名の中から1人の割合をもって選出される代議員をもって社員とする。
- 3 代議員を選出するため、正会員による代議員選挙を行う。代議員選挙を行うために必要な細則は理事会において定める。
- 4 代議員は、正会員の中から選ばれることを要する。正会員は、前項の代議員選挙に立候補することができる。
- 5 第3項の代議員選挙において、正会員は他の正会員と等しく代議員を選挙する権利を有する。理事又は理事会は、代議員を選出することはできない。
- 6 第3項の代議員選挙は、4年に1度、1月から2月までの期間に実施することとし、代議員の任期は、代議員選任の年の4月1日から4年後の3月31日までとし、再任を妨げない。ただし、代議員が社員総会決議取消しの訴え、解散の訴え、責任追及の訴え及び役員の解任の訴え(法人法第266条第1項、第268条、第278条、第284条)を提起している場合(法人法第278条第1項に規定する訴えの提起の請求をしている場合を含む。)には、当該訴訟が終結するまでの間、当該代議員は社員たる地位を失わない(当該代議員は、役員の選任及び解任(法人法第63条及び第70条)並びに定款変更(法人法第146条)についての議決権を有しないこととする。)
- 7 代議員が欠けた場合又は代議員の員数を欠くこととなるときに備えて補欠の代議員を選挙することができる。補欠の代議員の任期は、任期の満了前に退任した代議員の任期の満了する時までとする。
- 8 補欠の代議員を選挙する場合には、次に掲げる事項も併せて決定しなければならない。
 - 一 当該候補者が補欠の代議員である旨
 - 二 当該候補者を1人又は2人以上の特定の代議員の補欠の代議員として選任するときは、その旨及び当該特定の代議員の氏名
 - 三 同一の代議員(2以上の代議員の補欠として選任した場合にあっては、当該2以上の代議員)につき2人以上の補欠の代議員を選任するときは、当該補欠の代議員相互間の優先順位
- 9 第7項の補欠の代議員の選任に係る決議が効力を有する期間は、第6項に定める代議員の任期の満了の時までとする。
- 10 正会員は、法人法に規定された次に掲げる社員の権利を、社員と同様に本会に対して行使することができる。
 - 一 法人法第14条第2項の権利(定款の閲覧等)
 - 二 法人法第32条第2項の権利(社員名簿の閲覧等)
 - 三 法人法第57条第4項の権利(社員総会の議事録の閲覧等)
 - 四 法人法第50条第6項の権利(社員の代理権証明書面等の閲覧等)
 - 五 法人法51条第4項及び第52条第5項の権利(議決権行使書面の閲覧等)
 - 六 法人法第129条第3項の権利(計算書類等の閲覧等)
 - 七 法人法第229条第2項の権利(清算法人の貸借対照表等の閲覧等)
 - 八 法人法第246条第3項、第250条第3項及び第256条第3項の権利(合併契約書等の閲覧等)
- ~~11 理事及び監事は、その任務を怠ったときは、本会に対し、これによって生じた損害を賠償する責任を負い、法人法第112条の規定にかかわらず、この責任は、すべての正会員の同意がなければ、免除することができない。~~
- ~~12~~ 11 正会員が満65歳に達した日以降最初の3月31日が経過した場合には、正会員の資格を喪失し、特段の意思表示のない限りシニア会員になるものとする。

(入会)

第6条 会員になろうとする者は、次条に定める入会金及び当該年度の会費を添えて所定の入会申込書を理事長に提出し、理事会の承認を得なければならない。ただし、名誉会員及び功労会員として社員総会の承認を得た者は、入会の手続きを要せず、本人の承諾をもって会員となるものとする。

(入会金及び会費)

第7条 入会金及び会費に関する規定は、社員総会の決議を経て別に定める。

(会誌の配布等)

第8条 会員には、本会が刊行する会誌を配布する。

2 会員は、本会が催す各種の事業に優先参加することができる。

(資格の喪失)

第9条 会員は、次の事由によってその資格を喪失する。

- 一 退会したとき。
- 二 会費を3年滞納したとき。資格喪失日時は3年連続滞納した年度末とする。
- 三 死亡したとき、若しくは失踪宣告を受けたとき、又は団体である会員が解散したとき。
- 四 除名されたとき。
- 五 総社員の同意のあったとき。

2 代議員は、正会員の資格を喪失したときは、代議員たる資格も喪失する。

(退 会)

第10条 会員が退会しようとするときは、任意にいつでも退会することができる。

(懲 戒)

第11条 会員が本会の定款若しくは規則等に違反したとき又は本会の名誉若しくは信用を傷つけ、その他会員としての品位を損なう行為があったときは、これを懲戒することができる。

2 懲戒は、次の2種とする。

- 一 除名
- 二 嚴重注意

3 前項第1号により会員を除名する場合には、社員総会の決議を経なければならない。この場合、その会員に対し社員総会の1週間前までに理由を付して除名する旨を通知し、社員総会において当該会員に対し、決議の前に弁明の機会を与えなければならない。

4 前項により除名が決議されたときは、その会員に対し、通知するものとする。

5 第2項第2号により嚴重注意する場合には、理事会の決議を経て理事長がこれを行う。

(会員資格喪失に伴う権利及び義務)

第12条 会員が第9条第1項の規定によりその資格を喪失したときは、本会に対する会員としての権利を失い、義務を免れる。ただし、未履行の義務は、これを免れることができない。

2 本会は、会員がその資格を喪失しても、既納の入会金、会費及び拠出金品は、これを返還しない。

第4章 社員総会

(構 成)

第13条 社員総会は、すべての社員をもって構成する。

(権 限)

第14条 社員総会は、次の事項について決議する。

- 一 役員の選任又は解任
- 二 定款の変更
- 三 貸借対照表及び損益計算書(~~正味財産増減計算書~~活動計算書)の承認
- 四 入会金及び会費の金額
- 五 会員の除名
- 六 長期借入金並びに重要な財産の処分及び譲受け
- 七 解散及び残余財産の処分
- 八 基本財産の処分
- 九 合併、事業の全部若しくは一部の譲渡
- 十 前各号に定めるもののほか法人法に規定する事項及びこの定款に定められた事項

2 前項にかかわらず、個々の社員総会においては、第16条第3項の書面に記載した社員総会の目的である事項以外の事項は、決議することができない。

(開 催)

第15条 定時社員総会として毎年度1回事業年度終了後3か月以内に開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招 集)

第16条 社員総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

2 前項のほか、総社員の議決権の10分の1以上を有する社員から会議に付議すべき事項及び理由を記載した書面を提出して社員総会の開催を請求されたときは、理事長は、その請求を受理したのち30日以内に臨時社員総会を招集しなければならない。

- 3 社員総会の招集は、少なくとも14日以前に、その会議に付議すべき事項、日時及び場所を記載した書面をもって社員に通知する。

(議長)

第17条 社員総会の議長は、当該社員総会において社員の中から選出する。

(議決権)

第18条 社員総会における議決権は、社員1名につき1個とする。

(決議)

第19条 社員総会の決議は、総社員の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席した当該社員の議決権の過半数をもって行う。ただし、当該議事につき書面をもってあらかじめ意思を表示した者は、出席者と見なし、この書面は社員総会の日から3か月間、その主たる事務所に備え置かなければならない。

- 2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、総社員の半数以上であつて、総社員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。

- 一 監事の解任
- 二 定款の変更
- 三 会員の除名
- 四 長期借入金乃至は多額の借財及び重要な財産の処分又は譲受け
- 五 解散及び残余財産の処分
- 六 合併、事業の全部若しくは一部の譲渡
- 七 基本財産の処分
- 八 その他法令で定められた事項

- 3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が、第23条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(書面議決)

第20条 理事又は社員が社員総会の目的である事項について提案をした場合において、当該提案につき社員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、当該提案を可決する旨の社員総会の決議があったものとみなす。

- 2 前項の規定により社員総会の決議があったものとみなされる日から10年間、前項の書面又は電磁的記録をその主たる事務所に備え置かなければならない。

(会員への報告)

第21条 社員総会の議事の要領及び決議した事項については、これを全会員に報告する。

(議事録)

第22条 社員総会の議事については、法令の定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 議長及び選任された出席者の代表2名以上の者は、記名押印する。
- 3 前項の議事録は、社員総会の日から10年間、その主たる事務所に備え置かなければならない。

第5章 役員

(役員の設置)

第23条 本会に、次の役員を置く。

- 一 理事20名以上25名以内と外部理事1名以上とする。外部理事は公益社団法人及び公益社団法人の認定等に関する法律第5条第十五項上の外部理事でなければならない。
- 二 監事2名以内と外部監事1名以上とする。外部監事は公益社団法人及び公益社団法人の認定等に関する法律第5条第十六項上の外部監事でなければならない。
- 2 理事のうち1名を理事長、2名を副理事長とする。
- 3 前項の理事長及び副理事長をもって法人法第91条第1項第1号上の代表理事とし、理事長及び、副理事長及び外部理事以外の理事をもって法人法第91条第1項第2号上の業務執行理事とする。

(役員の選任)

第24条 ~~理事及び監事は、社員により選挙によって選出された候補者及び現理事会が選挙結果を反映して決議により推薦された候補者の中から社員総会の決議により選任することができる。また監事は、社員により選挙によって選出された候補者の中から社員総会の決議により選任することができる。~~

- 2 理事長、副理事長及びその他の業務執行理事は、理事会の決議によって理事の中から選定及び解職する。
- 3 役員が欠けた場合又は役員の員数を欠くこととなるときに備えて補欠の役員を選任することができる。

- 4 理事のうちには、理事のいずれか1名及びその親族その他特殊の関係がある者の合計数が、理事総数(現在数)の3分の1を超えてはならない。
- 5 他の同一の団体の理事又は使用人である者その他これに準ずる相互に密接な関係にある理事の合計数は、理事総数の3分の1を超えてはならない。監事についても、同様とする。
- 6 監事には、理事(親族その他特殊の関係がある者を含む)及び使用人が含まれてはならない。また、各監事は、相互に親族その他特殊の関係があってはならない。

(理事の職務及び権限)

第25条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

- 2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、本会を代表し、その業務を執行し、業務執行理事は、理事会において別に定めるところにより、本会の業務を分担執行する。
- 3 副理事長は、理事長を補佐し、本会の業務を執行する。
- 4 理事長、副理事長及び業務執行理事は、毎事業年度毎に4か月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務・権限)

第26条 監事は、次に掲げる職務を行う。

- 一 本会の業務及び財産の状況を監査すること、並びに各事業年度に係る計算書類及び事業報告等を監査すること。
- 二 理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成すること。
- 三 理事が不正の行為をし、若しくはその行為をするおそれがあると認めるとき又は法令若しくはこの定款に違反する事実若しくは著しく不当な事実があると認めるときは、これを社員総会及び理事会に報告すること。
- 四 前号の報告をするため必要があるときは、理事長に理事会の招集を請求すること。ただし、その請求があった日から5日以内に、その請求があった日から2週間以内の日を理事会の日とする招集通知が発せられない場合は、直接理事会を招集すること。
- 五 社員総会及び理事会に出席し、意見を述べること。
- 六 理事が社員総会に提出しようとする議案、書類その他法務省令で定めるものを調査し、法令若しくはこの定款に違反し、又は著しく不当な事項があると認めるときは、その調査の結果を社員総会に報告すること。
- 七 理事が本会の目的の範囲外の行為その他法令若しくはこの定款に違反する行為をし、又はこれらの行為をする恐れがある場合において、その行為によって本会に著しい損害が生じるおそれがあるときは、その理事に対し、その行為をやめることを請求すること。

(役員任期)

第27条 役員任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。

- 2 役員は、再任を妨げない。
- 3 補欠により選任された役員任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 役員は、第23条に定める定数に足りなくなる時は、任期の満了、又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお役員としての権利業務を有する。

(役員報酬)

第28条 役員は、無報酬とする。ただし、外部理事及び外部監事に対しては、社員総会で定めた役員報酬・退職金に関する規程に定めた報酬等を支給することができる。

- 2 前項の規定にかかわらず、役員は、その職務執行において必要な実費弁償を受けることができる。

(取引の制限)

第29条 理事が次に掲げる取引をしようとする場合は、その取引について重要な事実を開示し、理事会の承認を得なければならない。

- 一 自己又は第三者のためにする本会の事業の部類に属する取引
 - 二 自己又は第三者のためにする本会との取引
 - 三 本会がその理事の債務を保証すること、その他理事以外の者との間における本会とその理事との利益が相反する取引
- 2 前項の取引をした理事は、その取引の重要な事実を遅滞なく、理事会に報告しなければならない。

(損害賠償責任)

第30条 理事及び監事は、その任務を怠ったときは、本会に対し、これによって生じた損害を賠償する責任を負う。

- 2 本会は、前項の責任について、役員が職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がない場合において、責任の原因となった事実の内容、当該役員の職務の執行の状況その他の事情を勘案して特に必要と認め

るときは、理事会の決議によって、賠償責任額から法令に定める最低責任限度額を控除して得た額を限度として、免除することができる。

- 3 本会は、非業務執行理事及び外部監事(以下「非業務執行理事等」という。)との間で、非業務執行理事等の第1項の責任について、当該非業務執行理事等が職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がない場合においては、理事会の決議によって、賠償責任額を限定する契約を締結することができる。ただし、その契約により限定する賠償責任額は、金10万円以上で本会が予め定めた額と法令に定める最低責任限度額とのいずれか高い額を限度とする。

第6章 理事会

(構成)

第~~30~~31条 本会に理事会を置く。

- 2 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第~~31~~32条 理事会は、次の職務を行う。

- 一 社員総会の日時及び場所並びに目的である事項の決定
 - 二 規則の制定、変更及び改廃に関する事項
 - 三 前各号に定めるもののほか本会の業務執行の決定
 - 四 理事の職務の執行の監督
 - 五 理事長、副理事長及び業務執行理事の選定及び解職
- 2 理事会は、次に掲げる事項、その他の重要な業務執行の決定を、理事に委任することができない。
- 一 重要な財産の処分及び譲受け
 - 二 多額の借財
 - 三 重要な使用人の選任及び解任
 - 四 従たる事務所その他重要な組織の設置、変更及び廃止
 - 五 内部管理体制の整備
- 3 本会が保有する株式(出資)について、その株式(出資)に係る議決権を行使する場合には、あらかじめ理事会において理事総数(現在数)の3分の2以上の承認を要する。

(種類及び開催)

第~~32~~33条 理事会は、通常理事会及び臨時理事会の2種とする。

- 2 通常理事会は、毎事業年度2回以上開催する。
- 3 臨時理事会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。
 - 一 理事長が必要と認めたとき
 - 二 理事長以外の理事から会議の目的である事項を記載した書面をもって理事長に招集の請求があったとき
 - 三 前号の請求があった日から5日以内に、その請求のあった日から2週間以内の日を理事会の日とする理事会の招集の通知が発せられない場合に、その請求をした理事が招集したとき
 - 四 第26条第4号の規定により、監事から理事長に招集の請求があったとき、又は監事が招集したとき

(招集)

第~~33~~34条 理事会は、理事長が招集する。ただし、前条第3項第3号による理事が招集する場合及び前条第3項第4号後段により監事が招集する場合を除く。

- 2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が招集する。
- 3 理事長は、前条第3項第2号又は第4号前段に該当する場合は、その請求があった日から5日以内に、その請求があった日から2週間以内の日を理事会の日として臨時理事会を招集しなければならない。
- 4 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的である事項を記載した書面をもって、開催日の1週間前までに、通知しなければならない。
- 5 前項の規定にかかわらず、理事及び監事の全員の同意があるときは、招集の手続きを経ることなく理事会を開催することができる。

(議長)

第~~34~~35条 理事会の議長は、理事長がこれにあたる。

(決議)

第~~35~~36条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

(決議の省略)

第~~36~~**37**条 理事が、理事会の決議の目的である事項について提案した場合において、その提案について、議決に加わることのできる理事の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなすものとする。ただし、監事が異議を述べたときは、その限りではない。

(議事録等)

第~~37~~**38**条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した代表理事及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

3 理事会の日(前条の規定により理事会の決議があったものとみなされた日を含む。)から10年間、前項の議事録又は前条の意思表示をその主たる事務所に備え置かなければならない。

第7章 資産及び会計

(資産の構成)

第~~38~~**39**条 本会の資産は、次のとおりとする。

- 一 設立当初の財産目録に記載された財産
- 二 入会金及び会費
- 三 資産から生ずる収入
- 四 事業に伴う収入
- 五 寄付金品
- 六 その他の収入

(資産の種別)

第~~39~~**40**条 本会の資産を分けて、基本財産と運用財産の2種とする。

2 基本財産は、次に掲げるものをもって構成する。

- 一 設立当初の財産目録中基本財産の部に記載された財産
- 二 基本財産とすることを指定して寄付された財産
- 三 理事会で基本財産に繰り入れることを決議した財産

3 運用財産は、基本財産以外の資産とする。

(資産の管理)

第~~40~~**41**条 本会の資産は、理事会の決議を経て理事長が管理する。

2 基本財産のうち現金は、理事会の決議を経て、定期預金とする等確実な方法により、理事長が保管する。

(基本財産の処分の制限)

第~~41~~**42**条 基本財産は、第14条第1項の社員総会決議による場合を除き、譲渡し、交換し、担保に供し、又は運用財産に繰り入れてはならない。

(経費の支弁)

第~~42~~**43**条 本会の事業遂行に要する経費は、運用財産をもって支弁する。

(事業計画及び収支予算)

第~~43~~**44**条 本会の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込を記載した書類については、毎事業年度開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事会の承認を経て、直近の社員総会に報告するものとする。これを変更する場合も同様とする。

2 前項の書類については、主たる事務所に当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(長期借入金)

第~~44~~**45**条 本会が借入れをしようとするときは、その事業年度の収入をもって償還する短期借入金を除き、社員総会の決議を経なければならない。

(事業報告及び決算)

第~~45~~**46**条 本会の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受け、理事会の承認を受けなければならない。

- 一 事業報告(会員の異動状況書を含む)
- 二 事業報告の附属明細書
- 三 貸借対照表
- 四 損益計算書(~~正味財産増減計算書~~活動計算書)
- 五 貸借対照表及び損益計算書(~~正味財産増減計算書~~活動計算書)の附属明細書
- 六 財産目録

七 理事及び監事の報酬等の基準及び報酬額

- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号、第6号及び第7号の書類については、定時社員総会に提出し、第1号の書類については、内容を報告し、第3号、第4号、第6号及び第7号の書類については、承認を受けなければならない。
- 3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款及び社員名簿を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。
 - 一 監査報告
 - 二 理事及び監事の名簿
 - 三 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類
- 4 本会の収支決算に収支差額があるときは、理事会の承認を受けて、その一部若しくは全部を基本財産に編入し、又は翌年度に繰り越すものとする。

(公益目的取得財産残額の算定)

第~~46~~47条 理事長は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第48条の規定に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第3項第3号の書類に記載するものとする。

(基金を引き受ける者の募集)

第~~47~~48条 本会は、基金を引き受ける者の募集をすることができる。

- 2 拠出された基金は、基金の拠出者と合意した期日まで返還しない。
- 3 基金の返還の手続については、返還する基金の総額については定時社員総会の決議を経るものとするほか、基金の返還を行う場所及び方法その他必要な事項を理事会において別に定めるものとする。

(事業年度)

第~~48~~49条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終る。

(会計原則)

第~~49~~50条 本会の会計は、一般に公正妥当と認められる公益法人の会計の慣行に従うものとする。

(剰余金の分配)

第~~50~~51条 本会は、剰余金の分配を行うことができない。

第8章 定款の変更、合併及び解散等

(定款の変更)

第~~51~~52条 この定款は、社員総会の決議を経て変更することができる。

(合併等)

第~~52~~53条 本会は、社員総会の決議を経なければ、他の法人との合併、事業の全部又は、一部の譲渡をすることができない。

(解 散)

第~~53~~54条 本会は、社員総会の決議その他法令で定められた事由により解散する。

(公益認定の取消し等に伴う贈与)

第~~54~~55条 本会が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により消滅する場合(その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。)には、社員総会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1箇月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第~~17~~20号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

(残余財産の処分)

第~~55~~56条 本会が清算をする場合において有する残余財産は、社員総会の決議を経て、国若しくは地方公共団体又は公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第~~17~~20号に掲げる法人であって租税特別措置法第40条第1項に規定する公益法人等に該当する法人に贈与するものとする。

第9章 委員会

(委員会等)

第~~56~~57条 本会の事業を推進するために必要あるときは、理事会はその決議により、委員会等を設置することができる。

- 2 委員会等の委員は、会員及び学識経験者のうちから、理事会が選任する。
- 3 委員会等は審議の結果を理事会に報告するものとする。
- 4 前項に定めるもののほか、委員会等の任務、構成及び運営に関し必要な事項は、理事会の決議による。

第10章 事務局

(設置等)

第~~57~~58条 本会の事務を処理するため、事務局を設置する。

- 2 事務局に事務局長及び所要の職員を置く。
- 3 事務局長及び重要な職員は、理事長が理事会の承認を得て任免する。
- 4 職員は、有給とする。

第11章 情報公開、個人情報の保護及び公告

(情報公開)

第~~58~~59条 本会は、公正で開かれた活動を推進するため、その活動状況、運営内容、財務資料等を積極的に公開するものとする。

- 2 情報公開に関する必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

(個人情報の保護)

第~~59~~60条 本会は、業務上知り得た個人情報の保護に万全を期するものとする。

- 2 個人情報の保護に関する必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

(公 告)

第~~60~~61条 本会の公告は、電子公告により行う。

- 2 事故その他やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合には、官報に掲載する方法によるものとする。

附 則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第121条第1項において読み替えて準用する同法第106条第1項に定める一般法人の設立の登記の日から施行する。
- 2 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第121条第1項において読み替えて準用する同法第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と一般社団法人の設立の登記を行ったときは、第48条の規定にかかわらず、解散の登記の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。
- 3 この法人の最初の代表理事及び業務執行理事は、第24条の規定にかかわらず、次のとおりとする。
理事(理事長) 竹中 克
理事(副理事長) 工藤 正俊
理事(副理事長) 谷口 信行
- 4 本会の設立により、従来社団法人日本超音波医学会に属した会員並びに財産及び権利義務の一切は、本会が継承する。
- 5 この定款の施行後最初の代議員は、第5条と同じ方法で予め行う代議員選挙において最初の代議員として選出された者とする。

附 則

- 1 この定款の第9条の変更は、平成26年度社員総会の翌日(平成26年5月11日)から施行し、その他の部分の変更は内閣府より公益認定を受けた日から施行する。

附 則

- 1 この定款の変更は、変更の議決を行った社員総会の翌日から施行する。平成26年5月10日の定時総会で停止条件を付して変更したものは廃止する。

附 則

- 1 この定款の変更は、平成27年10月10日から施行する。

附 則

- 1 この定款の変更は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この定款の変更は、平成28年5月28日から施行する。

附 則

- 1 この定款の変更は、令和元年5月25日から施行する。

附 則

- 1 この定款の変更は、令和5年5月28日から施行する。

附 則

- 1 この定款の変更は、令和7年5月31日から施行する。ただし、第14条及び第47条の損益計算書の名称変更については、令和8年4月1日から施行する。

定款変更事由

1. 準会員の入会資格(第5条第1項第三号)

高等専門学校本科の卒業生は、学術的知識のみでなく高度な技術を習得した者として企業や理工系大学で認識されており、更に平成3年度より、本科の卒業生に「准学士」が授与されるようになったことから、第5条第1項第三号の準会員の入会資格要件に、「高等専門学校で理工学系の准学士号を取得した者」を新たに追加した。

2. 役員の設置(第23条)・役員の選任(第24条)

令和7年4月に公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律が改正され、理事会運営の活性化を図る観点から、理事のうち一人以上は外部理事、監事のうち一人以上は外部監事であることが公益社団(財団)法人の認定基準になった。この対応として、第23条第1項第一号では理事の人数をこれまで20名以上25名以内としていたものに加えて、外部理事1名以上を置くこととし、第二項の監事についてもこれまで2名以内としていたものに加えて、外部監事1名以上を置くこととした。第3項では業務執行理事を定義するため条文を一部修正した。

3. 役員の報酬(第28条)

これまで役員は無報酬としていたが、外部役員については報酬が必要となる可能性もあることから、役員の報酬・退職金に関する規程に定めた報酬等を支給できるよう追加した。

4. 損害賠償責任(第5条第11項及び第30条)

これまで第5条第11項において定めていた条文を第30条に移すこととした。

また、第2項及び第3項の役員の責任の免除または限定については、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(以下「法人法」という)第114条及び115条に基づく役員の責任の免除または限定の定めをおくためには定款での記載が要件の一つとなっているため、今回の外部役員の導入にあわせて新設した。

5. 社員総会の権限(第14条)・事業報告及び決算(第46条)

令和7年4月に公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律が改正されたことに伴い、新しい会計基準に併せた決算書の名称を変更した。ただし、損益計算書の名称変更については、令和8年4月1日から施行する。

6. 公益認定の取消し等に伴う贈与(第55条)・残余財産の処分(第56条)

令和7年4月に公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律が改正されたことに伴い、改正された条文番号に修正した。

公益社団法人日本超音波医学会役員の報酬・退職金に関する規程(案)

(平成14年12月20日制定)
(平成25年4月1日改正)
(平成28年4月1日改正)
(令和7年5月31日改正)

(総 則)

第1条 この規程は、定款第28条(役員~~の設置~~役員~~の報酬~~)に関して必要な事項を定めるものである。

(無報酬)

第2条 この法人の役員(理事~~及び監事~~外部理事、及び外部監事は除く)は、その在任中報酬を受けず、退任時において退職金は支給されない。

- 2 外部理事、及び外部監事は、その在任中職務執行の対価として報酬を理事会等会議出席1回につき、30,000円(ただし、オンライン参加の場合は1回につき、20,000円)迄を上限とし支給することができる。ただし、同日に理事会や総会など2つ以上の会議が開催される場合は1回とみなす。報酬額については理事会で協議する。

(報酬等の支給方法)

第2条 報酬等は現金をもって本人に支給する。ただし、本人の指定する本人名義の金融機関口座に振り込むことができる。

- 2 報酬等は、法令に定めるところにより控除すべき金額等を控除して支給する。

(改 廃)

第3条 この内規の改廃は、執行部の発議により、理事会の議を経て、社員総会の承認を得なければならない。

附 則

この規程は、平成14年12月20日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、令和7年5月31日から施行する。

改正事由

- ・役員等の報酬に関しては、これまで無報酬としていたが、令和7年4月に公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の改正に伴い、今後外部理事・外部監事が選任されることから、外部理事・外部監事に対して報酬が発生する可能性がある。法人法第89条、及び第105条第1項の定めでは、定款に報酬額を定めていない場合には、社員総会の決議によって報酬額を定める必要があることから、外部理事・外部監事への報酬に関する条文を追加した。

(資料 8)

令和7年度公益社団法人日本超音波医学会 外部理事候補者

(自 令和7年5月31日 至 令和8年度定時総会開催日)

1. 外部理事候補者(1名)

本会役員代議員選任規則第2条に則り、現理事会の決議により指名した以下1名を外部理事候補者とする。

鈴木 雄 介 (鈴木法律事務所)

以上 1 名

(資料 9)

会費滞納による会員資格喪失者
(令和 7 年 3 月 31 日)

151名・ 1 社

内訳 正 会 員 78名

シニア会員 10名

準 会 員 63名

学生会員 0名

賛助会員 1社

(資料10)

名 誉 会 員 推 薦

本学会名誉会員規則第4条に照らし、以下の方を推薦する。

1. Cristina Chammas 氏

2. Ioan Sporea 氏

功 労 会 員 推 薦

本学会功労会員規則第4条に照らし、以下の方を推薦する。

サカタ コノミ
1. 坂田好美 氏

タハナ カツロウ
2. 立花克郎 氏

ヌマタ カズシ
3. 沼田和司 氏

第27回特別学会賞

飯 島 尋 子
(兵庫医科大学消化器内科)

椎 名 毅
(芝浦工業大学SIT 総合研究所大学院理工学研究科)

第4回工藤賞

黒 田 英 克
(岩手医科大学附属病院内科学講座消化器内科分野)

論 文 賞

第39回菊池賞

Artifact reduction in photoacoustic images by generating virtual dense array sensor from hemispheric sparse array sensor using deep learning (J Med Ultrasonics Vol.51, No.2)

Makoto Yamakawa, Tsuyoshi Shiina
(SIT Research Laboratories, Shibaura Institute of Technology)

Optimal treatment conditions for low-intensity pulsed ultrasound therapy for Alzheimer's disease: applications from mice to humans (J Med Ultrasonics Vol. 51, No. 3)

Tomohiko Shindo¹, Kumiko Eguchi¹, Yuto Monma¹, Hiroshi Kanai², Satoshi Yasuda¹, Hiroaki Shimokawa^{1, 3}
(¹Department of Cardiovascular Medicine, Tohoku University Graduate School of Medicine, ²Division of Biomedical Measurements and Diagnostics, Graduate School of Biomedical Engineering, Tohoku University, ³Graduate School, International University of Health and Welfare)

第20回伊東賞

Assessment of renal congestion in a rat model with congestive heart failure using superb microvascular imaging (J Med Ultrasonics Vol.51, No.2)

Tomofumi Nakatsukasa¹, Tomoko Ishizu¹, Ruriko Hayakawa², Masumi Ouchi², Naoto Kawamatsu¹, Kimi Sato¹, Masayoshi Yamamoto¹, Tomoko Machino², Ohtsuka¹, Kunio Kawanishi³, Yoshihiro Seo⁴
(¹Department of Cardiology, Institute of Medicine, University of Tsukuba, ²Department of Medical Science, Institute of Medicine, University of Tsukuba, ³Department of Experimental Pathology, Institute of Medicine, University of Tsukuba, ⁴Department of Cardiology, Faculty of Medicine, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences)

Deep learning approach for discrimination of liver lesions using nine time-phase images of contrast-enhanced ultrasound (J Med Ultrasonics Vol.51, No.1)

Naohisa Kamiyama¹, Katsutoshi Sugimoto², Ryuichi Nakahara³, Tatsuya Kakegawa², Takao Itoi²
(¹Ultrasound General Imaging, GE Healthcare Japan, ²Department of Gastroenterology and Hepatology, ³Department of Orthopedic Surgery, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Okayama University Graduate School of Medicine)

第25回技術賞

胎児心臓超音波スクリーニング支援AIシステム

小 松 正 明
(理化学研究所・国立がん研究センター・昭和大学・富士通Japan株式会社)

3rd Harmonic Imaging

岩 崎 亮 祐
(キヤノンメディカルシステムズ株式会社)

33MHz高周波リニアプローブ

岡 田 健 吾
(キヤノンメディカルシステムズ株式会社 超音波開発部)

第14回新人賞

[北海道地方会]

第54回北海道地方会学術集会発表【循環器】

カルフィルゾミブ誘発性肺高血圧症を発症した多発性骨髄腫の1例

宇留野滉介

(手稲渓仁会病院循環器内科)

[東北地方会]

第68回東北地方会学術集会発表【基礎】

超音波RF 信号を用いたクラッタフィルタ再構成による転移リンパ節の血管抽出
前 田 一 伎
(東北大学医工学研究科)

[関東甲信越地方会]
第36回関東甲信越地方会学術集会発表【基礎】
微小気泡と音響放射力による血管内皮細胞の流路内壁への捕捉培養条件の検討
野 口 彩 子
(東京農工大学大学院生物システム応用科学府)

[中部地方会]
第45回中部地方会学術集会発表【消化器】
ソナゾイド造影超音波内視鏡検査で特徴的な画像所見を呈した腭 epidermoid cyst の 1 例
高 木 大 貴
(日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院消化器内科)

[関西地方会]
第51回関西地方会学術集会発表【基礎】
超音波照射による線虫の酸化ストレス耐性獲得メカニズムに関する研究
丹 羽 良 介
(同志社大学大学院生命医科学研究科)

[中国地方会]
第58回中国地方会学術集会発表【消化器】
B-mode及び造影超音波にて確認困難であった血管内大細胞型B細胞リンパ腫 (IVLBCL) の一例
渋 谷 千 晶
(岡山市立市民病院消化器内科)

[四国地方会]
第34回四国地方会学術集会発表【循環器】
外耳道癌の心筋転移の一連の経過を心エコー図検査にて追えた一例
高 村 洸 輝
(高知大学老年病・循環器内科学)

[九州地方会]
第34回九州地方会学術集会発表【消化器】
超音波検査が診断・経過観察に有用だった急性巣状細菌性腎炎 (Acute Focal Bacterial Nephritis; AFBN) の2 例
島 拓 哉
(霧島市立医師会医療センター)

【顕彰委員会】
委 員 長 長谷川英之

副委員長 渡 邊 望

委 員
(基 礎) 山 口 匡
(循 環 器) 大 門 雅 夫 川 合 宏 哉
(消 化 器) 北 野 雅 之 日 浅 陽 一
(腎・泌尿器) 陣 崎 雅 弘
(産婦人科) 菊 池 昭 彦
(小 児 科) 市 橋 光
(運 動 器) 後 藤 英 之
(脳 神 経) 濱 口 浩 敏

オブザーバー
(基 礎) 秋山いわき

以上13名